二十一日夕刊
(朝夕刊併せて八頁)

發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社

第四十回帝國議會(東京特電)

貴族院(二十)

▲豫算委員會

【電報遲延着】貴族院豫算委員會は二十日午後三時開會阪谷芳郎男より奢侈贅澤取締に付き又武井守正男より大阪工業試驗所經費に付き質問あり仲小路農相是れに答へ猶ほ左の問答ありて四時四十分散會せり

▼高橋作衛氏 鋼片拂下問題の契約時期は何時也や其骨子たる本契約は大正五年七月ならずや

▼仲小路農相 先日押川製鐵所長官の辭表提出と鋼片拂下問題とは大なる關係なしと答辯したるが十二日衆議院散會後面會を求めたる際長官は「農相と意見の異なりたるが如き答辯を爲せるは遺憾なり自己の考へは農相と同様なり當時の契約は不當に非ず然るに米國禁鐵以來狀況に變化を生じたれば此際適當の措置を取るべしとの農相の意見には同意なり」と述べたれば余は然らば何等辭表の提出を要せざるに非ずやと云へり

▼高橋作衛氏 鋼片拂下問題に對して衆議院に提出したる書類の外會計の書類ありし筈なりと述ぶ

▼仲小路農相 中略 の假契約の書類はなかりしと答ふ

▼高橋作衛氏 是れ無しとせば他日政府を信任せざるに至るべし

▼阪本釤之助氏 親友たる押川君の爲め一言す凡そ官吏の出所進退は最も重要なり而して農相は長官の辭意を抑止したりと云へり卽ち辭表提出と見られざるに非ずや

▼仲小路農相 辭表提出は鋼片問題とは無關係なる故答辯せざりき本大臣の性質を能く長官は諒承し居れり

○中歐小露平和條約

全文九箇條より成る

中歐側と小露との間に締結せる平和條約は九箇條より成れるが重なる事項左の如し

一、境界は中歐と小露との國境は開戰前のものと同樣其れより以北はタルノグラードより始まりビイエゴライ、シチエブリシン、クラスノスタウ、バルチエウ、ラデン、メシルイエチエイエを連ねたる線とす但し細部に關して人類學的關係と住民の希望とを顧慮し混成委員によりて之を定む

一、占領地の撤兵は平和條約批准後直に開始する事

一、戰費、戰外及び敵國に於ける財產押收により蒙れる損害は相互共要求せざる事

一、經濟七條に於て通商に關する詳細なる取極めをなし小露より獨墺側への剩餘の穀物の輸入並に獨墺側より波斯方面に對する貨物の輸出を自由ならしめたり(ベルン電報)

○過激派反過激派軍

大戰鬪開始されん

東支鐵道と連絡を通せるセミヨーノフ大尉の反過激派軍は其數三千と稱し滿洲里等の露支國境附近に據りて過激派の滿洲侵入防禦に當り居れるが近くイルクツクよりチタに來襲すべき過激派軍との間に花々しき戰鬪行はれんこと豫期さる(哈爾賓特電)

○新軍隊編成吹聽

過激派政府は軍隊の風紀紊亂に付き各々新軍隊を編成すべきを吹聽し居れり(哈爾賓特電)

○カ將軍自殺說無根か

カレーヂン將軍の自殺說は事實無根なりと一部露人間に唱へらる(哈爾賓特電)

○哥薩克軍振はず

ドン地方の哥薩克軍は更に振はずノヴオチエルカツスク、ロストフの根據は近く襲撃すべく

○チタ市過激派に歸せん

チタ市も遂に過激派の手に歸すべし(哈爾賓特電) 穩和派に依りて保たれつゝ

○石井子米大使

石井菊次郎子は駐米大使に決定し近く親任式行はる可し(東京電報)

○林公使歸任期

林駐支公使は三四日中に北京に歸任する事に決定せり(東京電報)

東京より　在京一記者

世界思潮の大勢と我が帝國(七)

○世界思潮の大勢として吾人の注視せざる可からざるは民主々義社會主義潮流の高調と同時に民族主義潮流の高調是れ也。民族主義も亦民主々義と其の潮流を同うし初め聯合國の主張せる題目の一なりしと雖も露國過激派が獨墺に對して平和談判の基礎として民族主義を徹底的に高調するに及びて民族主義の聲益々高く民主々義と一致して民族主義に壓せらるゝ傾向を生ずるに至れり。

○蓋し民族主義の競爭は敢て今次の大戰に始まりたるに非ず第十九世紀以來獨逸の統一と云ひ伊太利の建國と云ひ巴爾幹諸邦の獨立と云ひ一として民族運動の歷史にあらざる無く彼の支那革命の如きも亦一面より云へば民族運動の端緒たる言を俟たず、而して今日歐洲大戰の重なる原因の一も亦其實獨逸民族とスラブ民族との衝突にして佛國の參戰も伊太利羅馬尼の參戰も亦獨逸民族と羅甸系民族との衝突にして是れ亦民族主義の競爭にあらざるは無き也。

○歐洲大戰の重なる原因の一にして既に民族競爭に在る以上は民主々義を代表せる聯合國が獨逸民族の跋扈壓に對し民族主義を唱へ戰爭の原因たる民族主義の競爭を杜絕し世界永遠の平和正義の平和を將來に保維せむことを期するは必至の勢にして必ずしも無理なる要求と謂ふ可からず、左れど民族主義も亦民主々義と等しく克く之を善用すれば正義自由平和人道に貢獻すること大なるは勿論なりと雖も萬一之を惡用せむ乎其の結果は寒心すべきもの無くんばあらず露國過激派の主張の如き卽ち是也

○露國過激派の主張する平和談判の基礎として唱ふる所の條件は一、獨立を有せざる民族は衆民投票を以て獨立を欲する乎又は何れの國家に屬することを欲する乎を決議すべきこと二、戰爭中獨立を失へる國民の獨立を完全に回復すること三、現戰爭中占領せる地方も強制的に併合せざること是れ也以上の提案に據れば聯合國も中歐同盟國も各其占領地より軍隊を撤し之を其の所屬國家に還附せざる可からず、又歐洲に於て獨立を有せざる民族の居住する地方卽ち目下獨墺の支配に在る各民族地方を始めとし更に遡りて英國の支配せる愛蘭埃及印度及び佛國の印度支那マダガスカルは勿論米國の玖馬比律賓等も亦其の所屬を地方民族の自選自決に一任せざる可からず、是れ果して行ふべき事と爲す乎、將た行ふ可からざる事と爲す乎。

◉書堂規則と訓令

昨紙所報の如く二十一日總督府令を以て書堂規則を發布卽日之を施行され更に同時に右實施に關する訓令發せられたるが規則全文及び訓令左の如し

書堂規則

第一條 書堂を開設したるときは左の各號の事項を具し府尹、郡守又は島司に屆出づべし

一、名稱、位置二、學童の定數三、教授用書籍名四、維持方法五、開設者教師の氏名並に履歷六、漢文の外特に國語、算術等を教授するときは其の事項七、季節を定めて授業を爲すものに在りては其の季節

前項各號の事項を變更したるときは府尹、郡守又は島司に屆出づべし但し開設者、教師の屆出に付ては履歷書を添附すべし

第二條 書堂を廢止したるときは開設者に於て遲滯なく之を府尹、郡守又は島司に屆出づべし

第三條 書堂の名稱には學校に類する文字を用ゐることを得ず書堂は名稱を記したる標札を見易き場所に揭ぐべし

第四條 禁錮以上の刑に處せられたる者又は性行不良なる者は書堂の開設者又は教師たることを得ず

第五條 左の場合に於ては道長官は書堂の閉鎖又は教師の變更其の他必要なる措置を命ずることを得

一、法令の規定に違反したる時

二、公安を害し又は教育上有害なりと認めたる時

第六條 書堂は特別の規定ある場合を除くの外府尹、郡守又は島司の監督に屬す

附則

本令は發布の日より之を施行す

訓令

曩に朝鮮教育令の實施に當り必要なる諸法規を制定發布したりしが書堂に對しては何等規定を設くるなく其の沿革並に民度に鑑み徐に之が指導啓發を期し以て今日に迫びたり今や諸般の教育の施設其の步武を進め普通、實業及び專門の各教育機關略ぼ整備せらるゝのみならず就中公立普通學校の如き其の數五百校に垂んとし私立學校の教育又逐次改善しつゝある現況と時勢民度の推移進展に鑑み茲に書堂に對し簡易なる規定を設くる必要を認め新に書堂規則を發布したり乃ち左に注意すべき事項の一斑を擧げて之を示す宜しく此の旨趣を體し法令の周知に努め以て施行上萬遺漏なからむことを期すべし

一、書堂に對し急劇の改善を促し又は其廢合を強制するが如きは從來之を均しく之を避けざるべからず就中民度低く普通教育機關の施設洽からざる地方に在りては特に意を用ゐて其の方途を誤ることなきを要す而して其の土地の狀況又は書堂の事情に鑑み相當改善の餘地あるものに在りても其の實情に鑑み實行し得べき程度に於て之を指導すべし

二、書堂は其由來學校と同じからず、彼の多數の學童を收容して學年、學期に依りて學班を組織し各種の事項を教授するが如きは書堂の事業と爲すべきものに非ざるを以て書堂の學童數は多くも三十人を超ゆることなきを定めしむべく且其範圍に於ては書堂の教授は從來概して唯漢文の素讀に止まりしも書堂の實情に依り漸次勸奬して國語及算術を教授せしむるを要す若夫れ名を書堂に藉りて私立學校規則の適用を免かれむとするものの如きは特に留意して取締の實效を擧げむことを期すべし

三、書堂教師中往々にして偏見固陋時勢を解せざる者あり是等に付ては平素其の思想の啓發に努むると共に其の言動に注意し相當取締をなし怠らざらむことを要す又公立普通學校長をして隨時書堂教師の視察を行はしめ又時々書堂教師を集め講習其の他の方法に依り必要なる事項を訓諭する等指導誘掖に力を致さゞるべからず

四、書堂に於て教授する書籍は從來慣例に依る所なるも就中時勢並に學童の能力等に比し不適當なるものの尠からざるを以て左に適當と認むべきものを列擧して之を示す須らく書堂をして此の內より選擇使用せしめ彼の發賣頒布禁止其の他不良書籍を用ゐしむるが如きこと莫らしむべし

千字文、類合、啓蒙篇、擊蒙要訣、小學、孝經、四書、三經、通鑑、古文眞寶、明心寶鑑、文章軌範、唐宋八家文讀本、東詩、唐詩、法帖、朝鮮總督府編纂教科書

◉學務主任會同

道學務主任事務打合會は來る二十五日より總督府第二會議室に於て宇佐美長官統裁の下に關屋學務局長弓削學務課長小田編輯課長立柄視學官其他學務課員及編輯課員列席左の日程に依り開會すべし

▲二十五日諮問事項答申▲二十六日同上▲二十七日注意事項、打合事項▲二十八日京畿道內學校參觀▲三月一日同上▲同二日打合事項

◉國境貿易

前年に比し著しき增加　合計二百四十萬四千餘圓

大正六年中陸接國境貿易額は輸出百十八萬七千五百八十六圓輸入百二十一萬七千三十九圓合計二百四十萬四千六百二十五圓にして之を前年と比較するに輸出十七萬九百三十七圓(一割七分)輸入五十萬四千三百三十三圓(七割四分)合計六十七萬五千二百七十圓(四割強)の增進を示し前年に於ては三十萬九百四十三圓の輸出超過なりしも本年は▼輸入激增の結果二萬九千四百五十三圓の輸入超過となれり今本年貿易額を地方別に揭げ之を前年と對照すれば左の如し(國境貿易)

地方別		六年	五年	增減
豆滿江	出	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	入	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	計	一、七二三、一九九	一、一八八、一〇三	[illegible]
鴨綠江	出	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	入	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	計	[illegible]	[illegible]	[illegible]
通計	出	一、一八七、五八六	一、〇一六、六四九	一七〇、九三七
	入	一、二一七、〇三九	七一二、七〇六	五〇四、三三三
	合計	二、四〇四、六二五	一、七二九、三五五	六七五、二七〇

更に陸接國境關稅令施行の翌大正三年以來四年間に於ける國境貿易の趨勢を概觀するに輸出入共年々增進を續け該期間に輸出は約八割輸入は▼約十五割を增加し出入總額二倍餘に伸張せり卽ち左の如し

▲四年對照表

年度	輸出品價	輸入品價	合計
大正三年	六四七、〇三五	五四一、四二五	一、一八八、四六〇
四年	七三八、〇四四	五三四、六八三	一、二七二、七二七
五年	一、〇一六、六四九	七一二、七〇六	一、七二九、三五五
六年	一、一八七、五八六	一、二一七、〇三九	二、四〇四、六二五

叙上國境貿易の大勢は畢竟對岸地方彼我經濟關係年を逐うて密接の度を加へつゝあるの表徵たらずんばあらず而して本年の貿易が斯の大勢上▼更に一段の伸張を遂げたる所以を窺ふに輸出貿易に在りては露國の動亂に基く留紙幣の大暴落、露領取引の不安等の理由に依り前年に比し新河山、龍洞等の對豆滿江下流地方より盛に浦潮方面に輸出されたる生牛の如き頭數約半減の不振に陷り又琿春方面に密輸出されたる酒精に對し彼地取締の嚴密となれる爲之亦出減少を免れざりしと雖も銀價の昂騰に依りて鴨綠江全流域並に豆滿江下流地方を除く對岸一帶住民の對外支拂關係頗る有利と成れるのみならず殊に間島地方に在りては粟豆類其他生產品の販路擴大に依り▼富力向上し加ふるに移住內地人の增加せる爲諸般の事情に依り食料海產物綿布類石油其他の日用品の需要增大せるを以て結局輸出金額の增加となり輸入貿易に在りては銀價騰貴の爲我が對支支拂關係甚だ不利となり之が爲め入の貨物少からず殊に鴨綠江流域に於て其影響著しかりしに拘はらず北鮮地方鐵道の敷設、兵營の新築並に之に隨伴して興れる一般建築工事に要する木材の供給を間島產に仰ぎたるもの尠からず同時に是等北鮮地方諸工事及び平安北道奧地に於ける新義州製紙會社用原料伐材從業人夫の增加並に▼鮮產米穀 價格昂騰の反響として粟の輸入旺盛を來たし淸津元山等の移出市場に粟豆類の活況を呈するや間島產の同品續々出廻り來つて國境の輸入激增を喚起し內地に於て白米又は麥類の需要增加し京城開城等に於ける高麗人蔘の買收に連れ國境各地を經て滿洲人蔘の買收亦頻りに行はれ或は甲山其他の礦山業の盛況に伴ひ鑛石運搬用として間島及び露領產牛馬の陸續購入せられたる等の事情に依り輸入金額激增を來せり加ふるに淸會線鐵道の開通は出入貨物の輸送上多大の便益を齎し朝鮮銀行龍井村出張所の開設も亦我▼取引關係を圓滑ならしむる事に與つて力ありしが如し之を要するに本年國境貿易の增進は主として朝鮮側に於ける經濟界の好景氣に依りて衝動せられたる結果にして對岸生產物の利用增加は直接には我輸入貿易の激增を招き延て彼が富源の開發と成り延て我輸出貿易にも好影響を及ぼしたるものと謂ふべし左に重要輸出入品を揭ぐ

▼輸出品 米、大豆、魚類、酒精、石油、生金巾、晒金巾、紙卷煙草、生牛、牛皮等

▼輸入品 粟、小豆、麵子、支那燒酎、人蔘、大豆油、生馬、木材其他

○露國休戰條約抗議

休戰破棄通告は二日間の期限に非ず

露獨間の休戰條約は二月十八日正午ブレストリトウスクに於て中止され再び戰鬪狀態開始さるべしとの獨逸側の聲明は十六日午後七時半發表右に對しトロツキー外相は直ちに伯林政府へ通牒を發して獨逸の通告に抗議せり其の概要に曰く「休戰條約の破棄通告は七日間の猶豫を附せざる可からずブレストリトウスクにて接手せる聲明にある如き二日間の期限にあらず」(哈爾賓特電)

○王氏賜暇と兼任

王總理に對し病氣靜養の賜暇あり又內務總長錢能訓氏に對し總理兼任代理の命令出たり(北京電報)

○王總理辭表提出

王總理は十九日夜辭表を提出せり(北京電報)

◉西伯利亞銀行閉店

浦鹽にて從來相當に活動を持續し來れる西伯利亞商業銀行は今回行員を解傭し其の營業を停止するに至りしが右は過激派政府の全國銀行合同の命令あり結果其の資本金沒收せらるゝに先んじ自ら閉店せしものなるべしと

◉价川鐵山變更

北海道製袋の所有たらんとせし平南价川郡价川鐵山並に价川新安州間の輕便鐵道は今回三井合名會社の經營に移り北海道製鐵株式會社と同一系統たるべき所管となるべしとの說あり從つて名稱其他にも變更を見るべしと稱せらる

◉鄭家屯鮮銀開期

鄭家屯に於ける朝鮮銀行の出張所は岸本所長以下行員一同極力開店準備に努め居れるも支那家屋の改造に手を要する事少なからず從つて豫期の如く二月末若くは三月一日の開店は困難なるべしと

◉天津教育視察團

來京中の天津教育視察團一行六名は二十一日より二十三日迄の間に京城中學、同高等普通學校、同附屬小學校、女子高等普通學校、中央試驗所、專修學校等を視察する豫定なるが總督府及び支那領事館より各一名宛附添案內すべし

●高橋武官出仕

母堂逝去の爲め忌引中なりし總督府附武官高橋少將は二十一日より除服出仕總督府各課を歷訪して挨拶を爲せり

●片山理事來朝

新任鮮銀理事片山繁雄氏は三月中旬三島理事の歸京と相前後して着任すべしと

●商銀本町新舊支店長交替 慶尙農銀調查課長に轉任せし川崎朝鮮商業銀行本町支店長は十九日新任せし池邊支店長との間に事務引繼を了したるを以て廿四日午前八時四十分發列車にて赴任の由

人事消息

▲吉岡重慶氏(慶北道第一部長) 二十一日朝入京茂達商業學校長邸に入れり今週中滯在の豫定

▲予茶叔則氏(司獄官) 二十一日附三十日間の豫定にて北京地方へ出張を命ぜらる

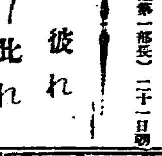
▲山田要助氏(釜山高普校敎諭) 二十一日附二十日間の豫定にて東京市へ出張を命ぜらる

▲稅田重氏(總督府技師) 二十一日附を以て江原道春川、平康、鐵原へ出張を命ぜらる往復八日間の豫定

▲稅田谷五郎氏(技師) 廿日附往復三十日間の豫定にて滿洲及北支那へ出張を命ぜらる

▲深尾道恕氏(黃海道第一部長) 二十一日朝大連、青島へ出張を命ぜらる往復三週間の豫定

彼れ此れ



◆近頃滿何年記念會とか、何々會とか稱し、門下生等が、能く祝賀會を開くが當世なるに。文學博士中島力造君、昨年滿廿五年に際し、門下生より、記念寄附金二千圓を受けて知らぬ顏。此頃門下生等の、變な顏を見て。君、彼の金は大學へ寄附したよと、門下生等は暗然、蓋し近時の一話柄たるを失はず。

◆押川長官の自殺は、電流の如く世上に傳はり、種々の意味に受取られしも、長官の心事を諒とする者は、其死に對して、熱誠なる悼意を表す。君は潔癖家として聞ね、醜八に珍らしくも、金錢に淡泊なりしが、其淡泊が却て身の禍となりしに非ざるか。

◆近時東都に於ては、卒業證書を入質する者多く、學士證書一枚三十圓也。窮すれば、通ずとは此等の謂ならんも、寶に之れ、老親の萬苦、故園荒廢の結晶と知らずや、然れども此も亦、生活難の犧牲として、背に腹の替へられざるが爲めか、寔に悲慘也。

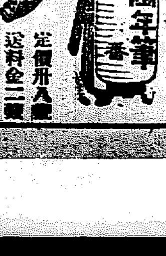
◆內地當業者の言に據れば、玄米三十圓說、白米五十圓說の實現は蓋し遠きに非ざるべしと。中產階級以下の、生活狀態は、更に愈々將來の大問題たるべく、朝鮮の如き、之れを對岸の火災として視るべからず。

購買 土地調查局用紙(美濃四つ切)拾貳萬五千枚 詳細ハ貳拾貳日以降ノ朝鮮官報ニアリ 土地調查局

木材拂下公告
江原道通川郡所在(貳ケ所)一、アカマツ角、丸材積四千九百五拾尺〇五 右公賣入札ニ付ス 大正七年貳月貳拾貳日 江原道

公告
一、竹添町道路局部改修工事 右二月二十六日午前拾壹時入札 京城府

謹告
生儀醫師中の處去る十七日開院し從前の通り專心醫業に從事す 櫻井町(電話壹壹七番) 池上醫院 池上要吉

今回朝鮮總督府の御買上を蒙りたる

自轉車用 提灯挿
取締規則に適應し提灯携帶を容易ならしむべく新案特許を得たる優美の金屬製なり 定價卅入錢 送料金二錢
發賣元 京城太平通(電話三六〇番) 京日代理部 振替京城三〇〇番
▲市內は電話にて申込次第配達可申候

醇良清酒

大阪府堺市 醸造發賣元 肥塚源次郎
京城本町一丁目 電話長二九番 特約販賣店 佐藤牧太郎

毛織物の代用品

‖獨逸に輸出したテグス繭から‖

◇我國でセル地と毛布の代用品が出來る◇

栗の葉を食して生活を營む栗蠶は其繭から出た絲が釣魚用に使はれる所からテグス蠶と云はれた

◆栗蠶の繭　は維新前から福島の會津其の他の地方で織物に織つた事もあつた、其後明治十六七年頃から右の繭を顧縮して絲狀として居たものを、獨逸へ年額十五六萬圓位輸出するやうになつた

◆獨逸では　之を玩具人形の毛髮又は束髮形の鬘、或は夏の手袋なぞに織つたと聞いて居る、夫れが戰爭開始と同時に輸出がハタと止まつたので會津及び其他の産地には原品が山の如く停滞するやうになつた、依て之が輸出に干與はつた某氏は各種織物の暴騰の折柄、之を

◆織物に利用　する事が出來たならば、國家の幸福であると思ひ立ち、昨秋その研究方を高等工業へ依賴して來た、然して栗蠶の繭は網目のやうになつて居て頗る硬い爲め、他の蠶繭の如く煮てから絲を引き出すと云ふ事は出來ぬ、之れを解舒して

◆精練紡績　に掛けてから漂白染色をしなければならず、夫れ迄には一方ならぬ苦心を要する、高校で精練した所が充分の光澤もあり、染色も普通絹物と同樣の成績を得た、其所で試みに少量の羊毛を綯合せて

◆洋服地を　織つて見た所が柔軟の度が足らぬ結果は羊毛との融和が惡く甚だ不結果であつた、更に方法を變へて此の絲を緯にし、經に羊毛を織つた所が之は稍見られるやうな洋服地が出來た、何分にも織物の必要條件である彈力伸張力及び強力等が不足であるから目下之れが

◆改善に著手　中で、己に強力の如きも百四十七瓩であつたものが二百十瓩以上の良成績を示すやうになつた、此の栗蠶織は毛製代用品即ちセル地又は毛布等の織物となる其他にも更に應用範圍を擴める事が能きようと思ふ、扨て此の研究が完成した上

◆原料の供給　は栗蠶は關東西を始め山陰山陽九州東北地方等殆んど日本全土の澀櫟樹林のある所に野生し、僅かに會津地方から出たものでさへ、去る三十六年以來毎年五千貫以上を輸出して居たのであるから、之を

◆全國の山林　から採取する事となれば其産額は非常の巨額に上る、更に人工を以て保護を加へたならば其産額は増大するであらう、今迄は殆んど棄てゝ顧みられなかつた山野の遺利が立派な國産となる譯である

押川氏の遺書發見

故押川則吉氏の遺書、自殺當時著衣せる大島一枚重ねの袷の袂より發見さる、其全文左の如し

遺書

此の處決は東海鋼業會社鋼片拂下に何等關係ある爲めにあらざるを言明す（東京特電）

斯して僞造した

鮮銀の五十錢手形　巧妙を極めたる犯罪

本月十日京城に於て僞造五十錢紙幣を使用して京城本町警察署に逮捕されたる者あり取調の結果右僞造紙幣は熊本縣天草郡姫戸村神合にて數名の共謀者と共に船中に於て僞造したること判明し十五日同署より右の旨電報を以て

◆熊本署に照會　ありたるより司法主任兩部警部は堀部刑事部長安樂刑事を京城に急派し兩刑事は三角署西刑事と共に三角港より船を仕立て姫戸村に渡り共犯者同村岩本松次（三五）を逮捕し家宅搜索をなしたるに證物の抽斗より僞造五十錢紙幣三枚を發見し床下の地中より同じく僞造紙幣

◆千二百枚か壺　に入れ埋めありたるを押收したるが共犯者熊本市外本山村向栄貯金會社重役田中五八（五〇）は十六日朝本山村の自宅に於て熊本署刑事に逮捕され同人の宅に千數百枚の僞造紙幣が隱匿しありたるより全部押收したるが聞く處によれば田中は熊本縣宇土郡三角町生れ大阪居住吉田義郎（三一）高知縣黑田宣道、岡山縣福山吉郎の三名が大阪より僞造の爲めに

◆使用する銅板　と器械を所持して一月十日頃熊本に來たり前記岩本と福山が面識あるより同人を天草より呼寄せ紙幣僞造のため來たれる事情を打明けたるに慾に目のなき岩本は製造額の山分けの條件の下に共謀者に加はりたることを岩本より聞込み自分も

◆一口入てくれ　と賴み資本金として百六十圓を黑田に提供し製造は岩本が居村姫戸の神合に於てすることに申合せ一同天草に渡り漁船三隻を買上げ姫戸より約半里の神合にて僞造に取懸り一月十五日より二月二日迄に約一萬枚の五十錢紙幣を作り之を一同にて山分けとなし

◆銅板は海中に　投じ三日姫戸村を立退き思ひ〳〵に別れ福山は四日三角驛發一番列車で京城に赴き同地にて僞造紙幣を使用中逮捕されたるが岩本は使用の器械を八代町に持ち行き古物商に三十五圓にて賣り居村に歸り僞造紙幣は常には手を掛けざる內輪にて檢擧され田中は出資者として約千圓の僞造紙幣を分配されたる後に至り

◆俄に薄氣味　惡くなりたるより何日何れにてか捲き棄てんと思ひ自宅に隱し置きたるを十六日朝逮捕されたるものにて田中岩本兩名は熊本地方裁判所外山檢事の取調を受け身柄は十七日京城法院に護送されたるが僞造五十錢紙幣は紙質粗惡なるも印刷鮮明にて色合及び模樣等一見實物と異ならず巧妙に出來居れりと（熊本特電）

◆動物園の新案　檻毎に詳しい說明を

眠かくなるさ皆來た天下である毎日何千と云ふ觀覽者を見るのが例であるが動物園ではこれ等觀覽者の爲め同園飼養禽獸の原產地、性狀、飼料と云つたやうなものを標識的に掲示する事に決し目下其準備中である、これに就て下郡山主任は語る「從來とても動物の名と原產地位は掲示してあつたがこれでは餘りに呆氣ないので今少し明細に掲示する事にしたのである、未だ何處の動物園でも遣つては居ないが斯う云ふ風にすれば觀覽者の方でも多少動物に對する智識を涵養する事が出來るであらう、それで說明の如きも平易な言文一致體を用ひ假名をつけて女子供にも解るやうに仕度いと思つて居る」

自殺未遂

◆鮮人富家　三十萬圓を損失して悲觀

全北鮮人富家として各種の事業に干與し全州農工銀行長たる朴永根氏は株式相場に手を染め今回約三十萬圓の損失を招きたるを悲觀し五六日前自宅に於て毒を仰ぎ自殺を圖りたるも家人に發見され應急手當を施へたる爲め生命には別狀無きを得たりと（群山）

▲看護長室から

僞造手形千二百枚現はる

記吉田義郎が久留米市外國分村大字國分第十八師團衛戍病院一等看護長福本力松方にて逮捕さるゝや京城本町署の

▲棚橋刑事は　十七日午前十時久留米裁判所宮山豫審判事と共に福本力松方の家宅搜索を爲したるが何一つ證據品と見る可きものなかりしより憲兵隊にては更に活動を開始し原分隊長係りとなり福本力松及び吉田義郎に付

▲徹宵取調べ　を爲せり其結果力松は始め容易に事實を吐かざりしも義郎の自白に依り包む事能はず事實は事實として語るに至り僞造紙幣千二百枚は思ひも依らぬ師團衛戍病院一等看護長室の置棚の內より紙包の儘現はれたり右

▲二名の自白　する所に依れば義郎は福本力松が共犯者の一名なる前記松次の實弟なる事を知りて本月四日久留米に來るや直に力松を衛戍病院內に訪問し自分は實兄松次殿とは懇意の者なりと云ひ是は大事の品なれば預かり置き具れと依賴し前記紙幣の紙包みを机上に置き

▲廣島方面　に行く途中なるが今晚は久留米に一泊せんと云ひたるより力松はそれなら自分の宅に一泊せよと彼を自宅に伴ひ歸りたるに丁度鄕里より小供來合せ居りて義郎の無邪氣らしい態度が

▲小供ご馳　走となり思はず滯在し居る中去る十四日突然久留米署員の爲め引致され力松は此處に疑惑を起し恐怖を感ずるに至り原分隊長の取調べに際しても始め事實を吐かざりしも遂に自白するに至りたるものにて紙幣は棚橋刑事に引渡せるが件の包みは棚橋刑事に引渡せり

▲五十錢兌換　劣は五十錢紙幣の如く色は桃色に非ず寄色にて一見實物と相違する所なく詳細に研究する時は紙質粗惡なると唐草模樣鮮明を缺ぎ居る位にて肉眼にては僞造なるや實物なるや見分け付かざる程

▲實に巧妙に　出來上り居り義郎は近日棚橋刑事の外久留米署より一名付き添ひ京城に護送する筈なりと（久留米特電）

◆攝津艦酒保に贈賄

吳市の清酒醸造業平岡德入外數名の者は自己の商品を攝津艦に納入せんと運動し同艦酒保員三名に贈賄を爲せし事發覺して目下法務會議に於て取調中なり（吳特電）

◆不正測量者

平南各郡廳に徘徊

林野整理に着手したるを機會とし平南各府郡廳に不正測量者入込み此際めき林野の測量を爲し傍ら附近の者に取扱に際して申告を爲すも權利の獲得は讓與に非ざれば後日整理調査の運ぶに際して適宜の測量手續を怠らざるのみならず頗る不利なる事を勸誘し以て不正の浮說を流布しそれを招くべしとの議しこれ等不正測量者の取締に關し府郡當局は地方警務官憲と協議し相當の處置に出づべしと

道板折れて一墜落

熔鑛爐作業中の職工生命危篤者三名

東京製鋼會社小倉製鋼所構內に建設中の日本鉄鋼會社熔鑛爐の作業中に道板折れて三十餘尺の高所より十三名の職工墜落し內三名は生命危篤に陷り五名は負傷す（下關特電）

中學生友人を斬る

小刀にて重傷

愛媛縣松山稅務署長永友卓爾氏の息永友信夫（一七）は同縣立松山中學校第五年級生徒なるが去る十九日同級生平島五郎（一七）を小刀にて斬付け重傷を負はせたり（松山特電）

大田の火事

十九日午後五時半大田榮町二丁目木尺里方に出火あり火元は大田署勤務巡査補十某宅にして急報に接するや中吉署長以下の警官及び大田消防組出動し消防に努めたる爲め大事に至らず一戸を全燒して鎭火したるが三日午後八時頃本町二丁目消防の手配早く行き屆きたると風向好かりし爲め大事に至らず一戸を全燒して鎭火したるが原因及び損害程度は目下取調べ中なり

不明屍體搜索

汝矣津遭難者の

十九日朝汝矣津に於て朝鮮郵船會[illegible]

◇春を彩るパラソル

梅が咲き出して陽氣が次第に暖くなり、春の光がキラ〳〵と輝くやうな春の日光が落ちるやうになると、色とり〴〵なパラソルの時季がまゐります。夜目遠目傘の中とも申しますやうに、洋傘を翳した若い娘さん達の姿は、春の巷を美しく見せる最も大切な色彩の一つとなるやうです。さて今年の洋傘の流行は何かと調べて見ますと、まづ色合は紫色系乃至は黑、さては茶味を中心として一體に派手好みな傾きがあり、そして若い方はお好みになるやうです。又地質は一般的に [illegible]

砂糖

五十錢騰る

大日本製糖會社は二十日精糖二十五圓五十錢となり前回より五十錢方の値上を發表せる爲め市中の相場は孰れに高唱へとなれり（大阪特電）

讀者文藝（一等には五十錢の商品券を呈す）

▲川柳　二階

三界に家なく二階借りて棲み（一等）京義利川　吉谷　定治

[illegible]

武術稽古開始

京城倶樂部にては來る二十五日より柔道劍道の稽古を開始する筈なるが其日割は柔道は毎週月、水、金の三回劍道は火、木、土の三回にして毎日午後四時開始同六時終了土曜日のみは午後三時より同五時迄なりと

乳母至急入用

身體强壯にして血統正しく性質純良なる二十歲前後迄京仁間に居住する者希望者は左記へ來談ありたし

仁川本町　奥田

◉商女職員懇話會　京城商業女學校職員懇話會にては二十一日午後四時より同校內に例會を開きたるが席上丹羽淸次郎氏の米國に於ける女子教育に關する講話ありたり

少し暑い[illegible]

課題募集規定

商況

東京期米特電　兵庫期米　大阪三品特電　大阪株式特電　大阪期米特電　下關期米特電

[illegible]

雜報

◉綿糸布小高し　◉米穀一圓十錢高　◉各期四五圓方昂騰し現物引締め　◉綿布龍レ一十圓三十錢　◉正米上破れ十錢方引締り　◉內地糖價奔騰　物十九圓五十錢　精糖三月限二十四圓八十五錢　◉一二十五圓を突破

◉引締め鮮白も同樣　約二十錢方　◉白米引締まる　◉引締方三十錢　◉圓三十錢小賣　◉製粉脫合商狀

下關相場

◉此儘歎調予盛續　◉過去一大決戰　◉皮革類持合　◉大豆品高　◉更に二十錢高　◉小麥更に奔騰　◉十六圓五六十錢處唱へ前日來五十錢確に奔騰　◉支那粟小締る　◉六十錢高　◉淺草海苔順調

仁川正米　釜山穀物（二十日）　仁川期米　二十一日前場（保合）　市場雜觀

大阪天候晴天前寄二十五圓九十五錢と昨止同事入鹽先二十圓丁度六錢高の新高値に寄付

依然日先商內

過ぎ一圓〇一圓の値に強弱共に買進に躊躇る處

警報出て風强

仁川取引所　二十一日の四月限

仁川米豆取引所仲買人　大五仲買店　店主　猪飼政太郎

仁川米豆取引所仲買人　廣澤正次郎

仁川米豆取引所仲買人　田中金兵衛商店

●支那幣制改革と金本位制の急務

支那の幣制改革は其經濟財政の維持發達の根本條件であるが其改革に關する問題は幣制の整理統一と金本位の可否との二に分れる支那通と稱せらるゝ多くの內外人は幣制整理を以て最先の急務とし本位問題の如きは之を第二位に置くべしと主張し孰れも其急務とする所の幣制整理の實行に至つては殆ど之を絶望視する者が少くない此種の意見は歐洲戰爭に據る世界經濟上の變動が支那の本位問題に及ぼせる

▲重大なる影響を無視するの誤に陷れるが上に支那通と稱せらるゝ者の多數に共通の缺點を暴露するものである幣制改革の如き一國の重大事業は其國民の物質的及び精神的の根本要求に背反して之を實行するの不能なるは勿論であるが併し所謂支那通の多くは眼前に開展する所の支那社會の制度習俗の細目に通曉するも其根柢に横はれる支那民族の本質と世界の大局より達觀したる支那の地位とに就いては

▲別段の識見なきが爲めに現在の儘の支那の事物が支那民族の根本に必要とする所なりと誤解し其結果往々にして總ての改革を不能又不要なりとの不親切なる結論に到達するのであるが上述の幣制改革に關する支那通の意見も同樣の缺點が現れて居る

▲支那の幣制整理が非常の難事たることは予輩も之を認むる併し幣制の紊亂不統一の極に達せるに拘らず支那は世界經濟上の銀貨國たるの地位を維持して居る此事實に據つて見るも幣制を整理統一するとか或る點を一國の本位として維持するとかは同一物であることが明かである而して歐洲戰爭に據る經濟の激變の結果若し支那にして銀貨國たるの現狀を維持するに於ては

▲戰後其經濟財政が敗捨すべからざる混亂に陷ると同時に今日支那が銀より金に移る時は根本的に甚大の利益を得るのみならず今日の機會を逸すれば近き將來に世界共通の金本位に移ることは殆んど絶望となる故に此際支那は是非とも列國就中我國の援助に據つて金本位を採用せねばならぬ固より金本位の採用には種々の困難はあるが併し金本位は

▲獨り支那の存立のみならず戰後の我經濟の維持にも直接の大關係を有し金本位を採用せる世界文明國の共通の利益であるから東洋の平和と繁榮とを圖つて世界文明に貢獻せんとする所の我國は其實行に盡すの努力を爲すの責任を有するのみならず今日も恰も

▲其實行を助くるの絶好の力を有して居る我國は從來支那の銀本位を維持して徐々に其幣制を改革すべしとの見地より或は五百萬圓或は千萬圓と云ふが如き少額の資金を貸渡す姑息の方法を採り來つたが此の如き方法は恰も沙漠に細流を注ぐが如く殆ど何等の効果を生ぜずして徒に支那の債務を增加するに止まらず資金の少額なるが爲め其用途に就いて確乎たる援助監督の方法を立て難きより其資金が

▲動もすれば濫用せられて支那の腐敗と黨爭との原因となるのである今後我國は支那の幣制改革の大事業に對する援助に就ては一體に在來の不徹底なる態度を改めて確乎たる方針を立てねばならぬが差當りの問題としては十分の資力を注いで先づ其金本位の

▲採用を援助せねばならぬ支那の現狀を顧みれば戰後の大難を前に控へて徒に南北相爭ふのみならず南北共に又諸派に分れて四分五裂の狀を呈し之が爲に金本位採用の好機會を逸して世界の落伍者たるの運命に陷らんとしつゝあるとは獨り支那の爲に悲しむべきのみならず我國の進展にも至大の惡影響を及ぼすものであつて支那と共用存立の關係を有する我國の默視し得ざる所である

●爭奪の滿洲里

長春以北東淸沿線全部及び哈爾賓に於ける動力失墜し西比利亞落ちを餘儀なくされし露國過激派の者は近來イルクーツク、チタ等の方面に於て漸次勢力を挽回し來り同方面の中心勢力は全く過激派の手中に歸しつゝありて全極東に於て彼等の一指をも染むる能はざるは唯一の束はポグラニチナヤ西は滿洲里、南は長春に至る東淸沿線の紐の如き一線のみなりとす故に彼等過激派は滿洲里より突進して之を奪還せんと焦慮し一方穩和派は支那兵に倚頼して之れを圍撓に止せんと策り居れり之れが爲め露國は客冬クリスマス頃より行動を起し露國守備兵を解散せしめられし滿洲里經由西比利亞に赴かしむる事は宛として彼等を態々過激派の群に投じ火に注ぐに油を以てするかの觀あり此くの如きは東鐵道及び穩和派の堪へ得る所に非ずおめに解散兵は多く滿洲里に送らず浦鹽方面に向け輸送せられたるも大部なり而して一旦浦鹽に送られし兵士は更らに多くの日子を費やし黑龍鐵道に依て西比利亞に入り露國の途に就き居れり之に現在に於ける滿洲里は兩派勢力の衝突地點として陰雲其空を蔽ひ戰の今や漸く開始されんとするの狀態にあり

●長春舊曆年頭
大豆出廻激增

■長春特產出廻りは昨年末迄は出廻り不振を報ぜられたるに反し新年早々より出廻激增したるが、之に對しても品質不良其他の事實より想像して本年の一般に不作なるが如く察し居たるが今日迄の正月の間隔て、新春の出廻情況を聞くに最初の想像程の不作にてはあらざりしが如く、滿蒙一帶に於て不況なりしも北滿品の出廻りは昨年程の商は示さゞるも何分本年は例年と異り浦鹽閉鎖と云ふ特殊なる事情のため南下特產物激增を見つゝある次第もあれば、急に生產地の出來不出來を云々し難き點あるも、此の點に考慮を及ぼしても不作と云ふ程にあらざるは明白となれり。目下長春の大豆滯貨は約四十萬噸に及び、此の內驛構內十三萬噸、引込線に在るもの二十六、七萬噸と察せられ。又南滿特產物は長春驛扱ひのみにて既に三十萬噸に達し、南方各驛を合すれば八十萬噸の巨額に上り治れるが、之を浦鹽閉鎖によつて得たる結果にして滿鐵會社の巨利は想像するに足るべし。目下の新春の初立値は大豆石に付十一圓八十錢にして、舊曆年末に比して約六十錢なり

■大豆其他の出廻多きに比して此等積出馬車が歸途の積荷として買入品中本年は砂糖の非常に少なき模樣なるが之は昨年秋より初冬にかけて當地砂糖相場高かりしため一時に持ち去りし結果にして目下は當地相場に比して內地相場の割高なる理由より當地一般に品手薄なるに由るものなり

■去る十六日（陰曆正月六日）の初立始めに於ける貨物は金對六百九十五留にして、舊曆年末は此の落定まりなき程に暮れたれば支那の大手筋も餘程の警戒をしたるものらしく、ために其の頃より稍沈滯のまゝ新年を迎へたるが、何分未だ屠蘇機嫌醒め切らざれば此數日間は手合はせ殆んど無かるべく、從つて變動あるとするも其後の事なるべし

●新舊二浦の市街借地　值上
一等地は坪十八錢

新舊二浦市街宅地は鐵道用地及び民有地の二ツに別れ居りて民有地は約二分の一にして從來借地料は一等地坪五錢、二等地三錢、三等地は五厘乃至二錢五厘なりしが近時新舊二浦の發展に伴ひ地主連は此際地料値上げを實行すべく內地人側地主大橋房行、吉尾金次郞、志賀恒彥、岩崎末一、池內春吉外一四名は四五日以前協議の結果一等地を坪十八錢二等地十三錢三等地十錢四等地八錢と決定來る三月一日より實行すべく夫れ／＼借地人に通牒を發したるが借地人側に於ては斯かる無法なる値上げを甘受すべからずとなし去る十五日夜新舊二浦淨土宗布敎所に借地人有志二十餘名集合熟議の結果現時新舊二浦の狀勢に鑑み多少の値上げは忍ぶべきも前記の如き坪十八錢等と稱す未だ平壤、鎭南浦等の市街にも類例なき借地料値上げには全然反對すべく萬一地主に於て反省せずして飽くまで値上げを主張するに於ては相當官廳の裁斷を仰ぐべしとなし其の旨地主側に通知せりといふ

●小麥益々暴進

小麥は各地に於て思惑買多く殊に平壤の如き鎭南浦齋藤久太郞氏の買占め等より延びて一般製造口の進み買製粉所の買ひ進みありて氣配益々良好を唱へ沙里院土物十四圓八九十錢見當にて本月上旬より三十錢方引締まれり而して後氣配強く製粉家は原料買を急ぎつゝあるの狀態なり

●永浦組合管理後任

永登浦水利組合管理者木塚常三郞氏は二月廿四日を以て任期滿了につき今回其後任の內命を受け居れるも氏は繁忙なる事とて辭退しつゝあれば多分朝鮮皮革會社佐渡秀光氏の任命を見る可し

●大連より

○大連市大正七年度豫算會議は十九日より開會せらるゝ事となれり從來市制とは名のみにして一種の衞生組合と差異なかりしも大連市も漸次市の發展に伴ひ自治體の形式を整へ來りし殊に今回の市會に於ては其の面目漸次改善し一新せるの感なくんばあらず

○大正七年度市の歲入出豫算が果して大大連市豫算として其の自治運用に遺憾なきや否やは暫く別として會議に提出せらるべき議案を見るに大連市として重要なる案件少からず此等の提案にして吾人の期待し居るが如く決定實施せらるゝに至らば近來大連市民が要望しつゝありし市務權限の擴張即ち普通市制施行に向ひて其の一歩を進め得たるものと云ふも不可なかるべし

○提案中吾人の最も緊要の問題として其の實行を期待して止まざるは汚物掃除規則案にして議案は四五に分れ居るも之等は皆一括して大連市の最大重要問題として積極的方針を樹てざるべからず大連市民が現今如何に惡疾汚物に苦しめられ傳染病に就き市公衆衞生機關の現狀に鑑みて多大の恐怖に襲はれ居るやは民政署及び市當局の目睹する處なるべしされば吾人は今年の市會が市衞生諸設備に就きて根本的方策を講ずべきを疑はざるものなり

○議案の一たる近江町其他市中に散在する下層支那人部落取拂方建議の件は大連市の重要案件として比較的容易ならざる問題たると共に其の遂行に向つては市會の努力を要すべき件なり

○近江町其他の部落居せるは市發展の歷史を語るものにして曾て市外又は市の中央なりし個所が現今に至りては市の中央となり部落居住者は何等の爲め衞生に火災に危險に風俗に甚だしく害を及ぼし彼等より其の日常生活を脅かされつゝあり

○之れを市街敷地の方面より見るも現今大連市の地も除きて大連市の中央部位に幾多の原始的小屋掛住民を抱擁し居る事は伊勢町等を經て市の內部に到れば斯くの如き部落に逢着する事は甚だ不體裁にして不經濟に非ずや市の體面上より見るも日本租界地より大山通を經て中心に至るまでの不整合なる事甚だし

○彼等の居住する敷地の宜しく有なる事は比較的此の問題の解決の容易なると彼等の職業が市中なると郊外なると大差なき青物商及び古物商、鍛冶職又は阿片小賣商等のみなるも又該取拂問題の割合に容易なるを思はしむるに充分なり

○此の他臨時市務調査委員規則案、北陽子地方海岸埋立許可出願案等幾多の重要案あり議員諸君が多少商應へある會議として微笑さるゝ處たるべし

◆平壤の洋服界
時代風潮と氣候關係

本年の流行品に就て洋服界を漁つて見ると內地と平壤方面は氣温關係よりして若干流行界に異なる點が多い然し之等は或一部分に限られて全部が時代遲れであるかと云ふと決して左うではない我平壤にても東都と同一時季に同一の流行スタイルをした洋服を著用して居る人は澤山ある要するに內地と平壤と異なる點は冬期間であつて結氷期間が全然相違して居るのは已むを得ないことである尤も時代風潮の進化に伴うて現代に於ては比較的年長者が派手物を好むと云ふ傾向が見れて來たが何方かと云ふと一番に澁色を好むものが多い其處で本年の合服は例のホームスパン生地、斜子地セル、綾織セル等で空色、灰鼠色系統の霜降等が色彩の覇を示してゐるがスタイルに至つては先づ脊廣前紐釦三ツ紐釦を用ゐ一時流行した二ツ紐釦は若年者にのみ限られたかの如うになつた又脊割は舊式に廢し上著前方型は餘程大きくなつて來た襟型も大きく小襟の上部より大丸になつて居るのが當年流行界の魁ともいふべきものである其他春先用として最も流行良好なるは獨逸式畏折運動服で之等も本年は餘程改良を加へられて居るチヨツキは坊主襟で別段昨年と大差は無いさうである柄は原料暴騰の齎す影響は毛織物三割高綿織物二割乃至三割高麻織物も三割半高を唱へて居るが需要季節の切迫に伴ひ益々好氣配を持續して居る因に安平壤に於ては人心風潮の變化より一種の奇現象を齎してゐるそれは秋冬人心の沈淪する時季は一般に黑地等を好む居替の候となつて俄然之等の傾向が一變して派手好みとなるのは多くの人の常であるさうな

台所の一日
◇芋入り蒸羊羹◇

さつま芋の皮を剝き三分位の厚さの菱の目に切り鍋に入れ砂糖三十匁の砂糖に水一合程加へて少し煮詰めた中に入れて煮て芋が軟かになりましたら小豆餡三百匁にメリケン粉三十匁と鹽一匁入れてよくまぜ芋を煮た汁でどろ／＼に溶き杓子で掬ひ落して見てぽとん／＼と落ちる位にしたら流しの中へ七分目位流し入れ三分程の中に前の芋を入れてかきまぜ表面へ平に並べ其の上に濡した布巾をあて上から蓋をして約一時間程蒸しますそして中まで蒸せましたら火を取り除き冷めてから下の布巾を取り除き適宜に切ります

左甚五郎
第百七十五席　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

浪花屋十右衞門は三人に對つて『俗者さん誠に氣の毒なのは惣右衞門親子の身の上、殊に此の小浪は親の爲とは云ひながら浮ぶ瀨もなき流れの身の上、せめて此の女を身受けして倅十三郎の嫁として遣りたいと思ひますが、如何なものでございませう』○『イヤ浪花屋さん、何うか然うして遣つて下さい、然うなれば又何うとかなります、俺達も相當相手となりますから』甚さん○『然うとも／＼、此の小浪の嫁となれば小浪の幸福、又阿父さんも定めし喜ぶことでせう、何うぞ然うして遣つて下さい』と

十踏は片方は上るの譬へ、京都の大工連は是を嫉んで皆惡く云つて居りますが、江戸の甚五郎といふ奴はイケ押賊た奴だ、京都へ來て仕事をするなら俺達の方へ渡りを附けさうなものだ、それに一遍の面出しもしねえといふのは甚い奴、金閣寺の頂上へ上げたのが彫刻の千疋鶴、あいつを打ち落して甚五郎に恥をかゝして遣れと云ふので、源太郎といふ奴を始め四五人の大工が、其の夜密かに金閣寺へ忍んで參り源太郎が梯子を掛けて上り下から此の鶴をせつつ突き毀して遣ると長柄の

三人の者が桔梗屋へ參つて小浪の身受けをいたしました、幾ら金がかゝつても大家の旦那方でありますから差支はございません、又惣右衞門にも此の由を申し聞けますと是亦泣いて喜びました、乃で三人が親類親元となつて立派に支度をして浪花屋方へ嫁入をさせました婚禮の晩は是皆甚五郎のお影だと云つて招待いたし上席へ据えて取持をする、甚五郎も我が作つた人形が媒妁となつて緣組が出來たと思へば與に喜び、高砂や此の浦船に帆を揚げてと芽出度謠ひ納めて甚五郎は立歸る、十三郎と小浪の仲睦じきとは見る人も羨むばかりでございます、是を京人形と云つて其頃大した評判でございます、金閣寺の普請と云ひ京人形と云ひ、實に甚五郎は大したる彫刻師だと賞贊します、物には一方宜ければ一方惡し、踏臺も片方

先へ鑿を結び附けて梯子を上つて參つた源太郎、其の鑿でコツ／＼／＼と下から欄間に彫つてある鶴を突き始めた、スルと不思議なことには欄間へ彫つた鶴が動き出してバタ／＼と羽叩きをしたから源太郎はアッと驚き足を辷してガラ／＼と大地へ落る、途端に結び附けたる鑿が落ちて來て源太郎の鼻の頭を掠つて鼻は飛ぶ、『ウーム』しまつた鼻を遣られた』と云ふのを見て四五人の若い奴等『ヤア兄イ確りしねえ』『源』『サニヤ／＼』を云つて居るんだねさつぱり判らねえ『判らねえ譯だ、兄貴は鼻くたになつてしまつた』と皆々驚いて逃げてしまいましたが、惡戯は出來ないもの源太郎といふ奴は不具になりました、此の事を聞いて人々が成程甚五郎といふ人の作は皆魂が入つて居るから不思議な事をするものだと感じたといふ位、甚五郎は所司代屋敷へ罷出榮井稻葉等へお暇を申して京都を出立致しまする、出立の際は浪花屋十右衞門親子、丸屋吉兵衞、小西屋吉郞、近江屋長左衞門、桔梗屋の主人を初め皆なが見送りをして甚五郎は花々しく江戸へ立歸りました、是が爲に甚五郎彫刻の名を高くしたるが其頃神田明神のお普請出來をいたしたばかり、由井門は甚五郎にモゼイモと云ふのを公儀役人の詮かからう、乃ち甚五郎由門を遣ることになりました、此の二代目彫石衞門も此時には骨を折つて甚五郎の手助けをいたしました、甚五郎甚白の馬を彫刻するといふ一席鳥渡休息

人參エキス
京城本町一丁目　電話一四八〇、一八七〇番
津村兄弟商會

演藝案內

黃金館　電話二二六六
浪花館　明治町二丁目　電話二六〇番
有樂館
大正館　櫻井町　電話八七三
壽館　京城本町　電話一〇五〇

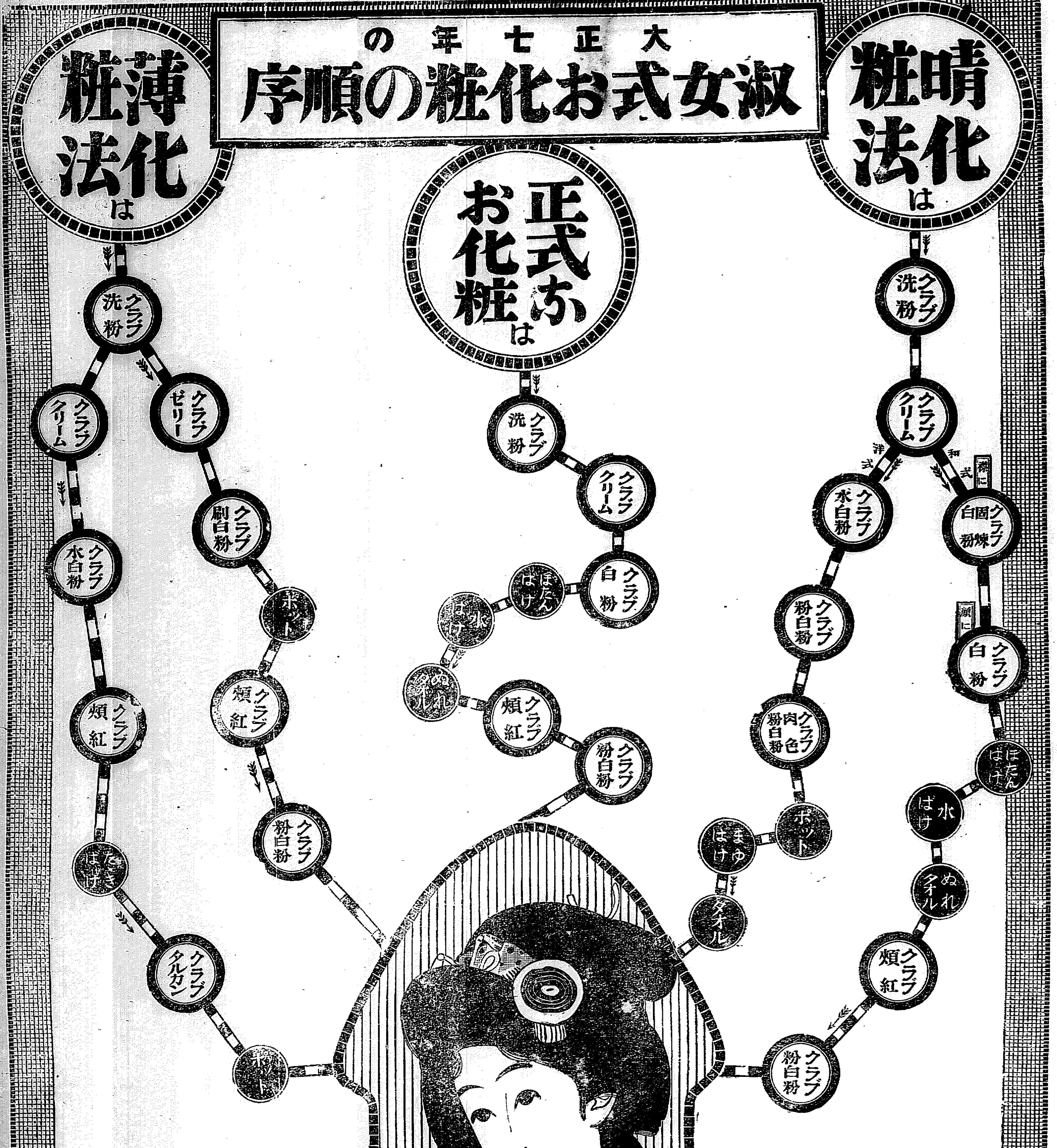
曾我一郎商店

質　倉庫完全　債券買入　杉本質店　京城櫻井町　電話二二〇六・一三番

荊妻ヨシ儀療養中の處二月二十日死去致候間此段御通知申上候
二月二十二日
坪內岩吉
親戚　藤谷信太郎
友人一同

●京城米況　●二十二日の四月限　寄付　大引

京釜線（南行）
（北行）
湖南線（南行）
同（北行）
京義線（北行）
同（南行）
京仁線（仁川行）
京元線（北行）
同（南行）



京城日報　第五版
二十二日朝刊（朝夕刊併せて八頁）
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

京城日報　戰局如何

最近歐羅巴より來る電信は、時々獨逸が西部戰線に於る大攻擊の計畫の漸進しつゝあるを報ずるも、[illegible]果して自ら進みて、攻勢を取るべきや否や、多少の疑問なき能はず、只西部戰線に於ける敵軍の著しく增加したるとは、最早爭ふべからざるの事實にして、過日佛國ヴェルサイユに於て、最高軍事會議を開きたるは、則ち英軍を主力と爲し、佛伊米諸軍これと力を合せて、獨逸の攻勢を挫折するの計を全くするが爲めなるや言を俟たず。

然るに英國衆議院に於て、ヴェルサイユ軍事會議に就き、政府を攻撃する者あるを懸念するものなきにあらずと雖も、是等は寧ろ有り勝ちの事なり、政府當局者は、今日の場合に於て、軍事會議の内容を發表する能はざるや論なしと雖も、議院の有力者[illegible]を要るの餘り、其情形を[illegible]乃ち政府當局者と議員との間に問題を重ねたりと雖も、結局は現在の内閣を支持することを表明して已みたり、英吉利は今日の協商國の主力たり、西部戰線今方に空前の大決戰を行はむとするに當りて、英國の朝野を擧げて其心を此に苦むるものあるは固より其處なり。

由來歐羅巴戰局に於ける味方は常に優勢を占め、敵を征服するとは、只時間の問題なりと云ふに過ぎざりしに、過般露國民戰爭より脱退して後獨墺軍は、對露戰線より他に轉移し、就中西部戰線に於て、遽かに敵軍の大增加を見るに至り、此に初めて對勢如何を運ぶものあり、併しながら西部戰線に於ける獨軍は、本來英佛聯合軍に劣ること甚だしく、米軍此に加するに及びて、一層の懸隔を生じたる次第にして、敵の露國より移し來れるもの、多寡は、未だ明白ならざれども、假令獨軍にして百萬以上の增援を得せしむるとするも、忽ちにして退守の策を變じて、猛然突進し來るべきや否や、甚だ疑問なり、且獨逸の增援を報じてより以來、既に三箇月を閲みして、且其態勢を報ずるのみにして、未だ進擊を試みざるを見ても、攻勢を取るとは、獨逸の最も難ずる所たるや論なきなり。

併しながら吾人の憂ふる所は、陸上にあらずして、寧ろ水上にあり[illegible]其勢甚だ[illegible]各水面に於[illegible]を爲すも、必ずしも減少したりと云ふべからざる上に、敵の新艇續出成り、此四月以後に於て最後の大活動を開始すべしと喋沙汰するものすらこれ有り、是等の報道が果して事實なりや否や、固より疑はしと雖も、敵の潜艇襲擊計畫にして、全く破壞せられざる限り協商國及び米國は、之を以て甚深憂大患と爲さゞるべからずして、世人の喧するごとく、若し此上に潜航巡洋艦なるもの成りて、水底に跋扈跳梁することもならば、其憂患は更に大なり、就中英米兩國これが爲めに受くるところの損失と危險とは、殆ど測るべからざるものあるを以て、吾人は陸上の軍事會議を、ヴェルサイユに開きたる如く、水上の要務を協定するの會議を以て、英米及び日本間に一大軍事組織を成すの必要あるを認む。

遊支偶錄

(廿六) 精神的缺乏

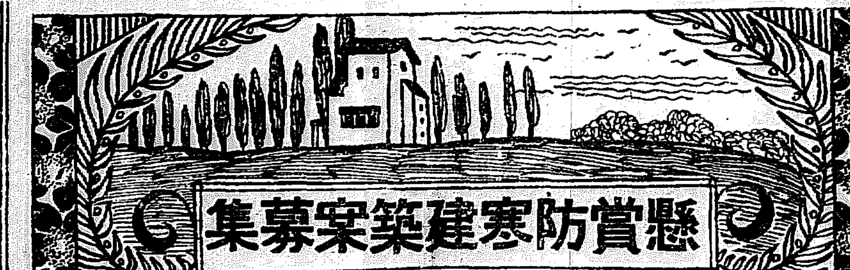
蘇峰生

予が北京に於て、或る大官に會見の節、御身達は一夕の饗宴に、客を招待するさへも、何日前よりも料理の準備を爲すと聞く。然るに國會を開設する際に、何等國論を統一する準備もなく、又た統一す可き機關をも有せず。而して今日に於て、徒らに國論紛糾、國是不定、國基の動搖を歎つも、亦た迂ならずやと評したるに、大官は如何にも尤もなりと答へたり。併し尤もにせよ、不尤にせよ、支那の憲政は、全く無準備、不用心の間に施行せられたりし也。

滿洲の朝廷存在したる間は、せめてもの事にて、中央に形式なりとも、政治的統制の主腦は存在せり。然るに今日に於ては、新制度出來し、馮と云ひ、段と云ひ、中央政府の名に據りて、天下に號令するも、精神的に之に嚮往する國論の統一もなく、物質的に之に服從せしむ可き勢力もなし。之れ共和的中央集權政治の名ありて、實なき所以なり。

[illegible]、所謂る民族的自負心[illegible]も國民的觀念なるもの[illegible]あらざる迄も、殆んど實[illegible]力たるを得ず。二十七八年役に際しても、此の國家危急存亡の一大機をば、唯だ李鴻章一輩、北洋派の戰爭視して、長江筋の劉坤一、張之洞の徒は、恰も局外中立の位地を占め、之を袖手傍觀したりしにあらずや。

今日の形勢は、當時に比すれば、固より同日の論にあらずとするも、要するに支那は、一國たるには餘りに廣大にして、特に中央集權的一國としては、殆んど不可能の情態なりと云ふを以て、適當とす可きか如し。即ち國民を統一す可き總ての物質的缺乏と與に、亦た精神的缺乏あり。而して今後、如何に交通機關の整備によりて、物質的に便宜なる或物を與ふるも、此の精神的缺乏を、此が爲めに補充し得可き見込は、殆んど之を見出し可くもあらず。



募集要旨

我社今回の防寒建築案募集は、住宅を主として計畫發表したるもの。特に中流階級の住宅を標準としたるは、相當の資力あり提案採用の實行者、比較的多數なる可きを豫期せるが爲めである。茲に應募者諸君の參考に資するが爲め、左に我社今次の募集要旨を摘載す。

◆建坪　四十坪乃至五十坪迄　但し二階建設計の場合も延坪が此制限より甚しく超過せざる事

◆家族　夫婦老人一子供三女中一計七人暮し位の立案

◆提案　平面圖、正面圖、側面圖、設計說明書等を具備す可し

◆工費　坪當り百圓内外とす

◆特案　特に防寒設備を施したる構造部分の詳細の圖面及び說明書

◆寒度　京城平壤兩地方に適當する程度の防寒構造

應募規定

(1)一人一案に限る‖(2)應募者諸君の提案は[illegible]中流家庭の住宅たるを定則とす[illegible]‖(3)應募者は必ず一案の平面圖、[illegible]を附せられたし‖(4)應募者は其設計書に必ず住所氏名を明記せられたし、但し入選の場合紙上發表の際は希望に依り[illegible]‖(5)締切期は來る三月十五日とす‖(6)發表期は來る四月一日とし一等より順次三等迄設計書、圖面共に京城日報紙上に掲載公表す‖(7)應募者は『京城日報社編輯局防寒建築募集係』と朱書ありたし‖(8)提案原稿は返戻せざる事を豫め承知あれ

懸賞

應募の防寒建築案にして審査の結果入選したる一等より三等迄四名の諸氏に左の賞金を[illegible]贈呈す

一等（一名）金百圓　二等（一名）金五十圓　三等（二名）金十圓宛

忘筱吟壇

牧馬園　大石松逕
兩鬣芳草寸青生。十百成群弄撫晴。時立擁遷高阜上。昂然振鬣愛嘶聲。
評曰　委龍如觀

新年雅會　富澤雲室
隨巷避來年賀賓。喜迷文墨度多人。塵埃不到雲烟起。咳唾作看珠玉新。香滿山窓遷樹暝。眠醒門柳受風鬟。醉酣興旺乘紅燭。客滿南。
評曰　人所難言、我易言之、此種是也

[illegible]顧盼早梅花似銀。
評曰　清和宛轉、情致兼到

豆腐　笹島紫峰
菽沫豆泡烹釜中。淮王此術一何工。豈唯淡白凌魚肉。畢竟養生尤有功。
評曰　安價生活論者、誦來可呼快也

海邊松　大島奇山
颯颯蒼髯閱老龍。沙明翁欝聳海重。濤聲數里瀛洲路。偃蓋千年翠色濃。
評曰　景中有情、明麗可愛

豆腐　成田秀石
世情恬澹小詩愈。粳玉香邊酒一瓢。寒夜客來無下物。神仙爐上[illegible]

どうして　七十七

布施生譯

二人は既に顔見合せて推默つてしまひましたが、軈て根掘り葉掘り色々の事を尋ね始め問詰めてして到頭、私に何もかも白狀させてしまひました。之で二人は、私の秘密を知つたのでございます。それから後は、私を種に二人で兼てら〇と云ふ計畫を建てましていね惡智慧は早く廻るのでございますね。もう此樣なれば今が今金庫へ手を懸けるには及ばない。それよりは此奴をつれ出して、と云ひながら私を引立てに掛つたのでございます。處が二人が思の外に思ひましたのは私が從前とは打て變つて強情に何處迄も二人に楯を突いたのでございます。私、親身の情に訴へて賴んでも見ました。二人の夜盜は兎も角二人の計畫を密告すると申して威しても見ました。しかし二人は之で今度こそ金の蔓に掴當てたと思つたのでございますもの勿論容易に私の申す事など肯きませんわ『來い來い』所が來い、素直に來なけりや引摺り出すぞと申しましたが二人は私を捕捉に懸りました。其隙に椅子も倒れいば私が縋付いた怎帳も裂けたのでございます。其時でございますよ、私自分で小刀を取りまして喉を御覽になりました疵をつけたのでございます。そして二人の言ふやうな威嚇には乘らないと云ふ事、いざとなれば自分で血を流すのも厭はない事、痛い目位で威しても、それは畢竟無駄だと云ふ事を見せやうと致したのでございます。二人も少しは悟りましたか今度は別の事で威しかけました。私それで心配になりましたから、到頭二人の言ふ通りに隨いて往く事に致しまして、一番大切な品物貴郎から戴いた結婚の指輪、谷女から貰ひました貴郎のお寫眞、其二つを手早く取集めまして羽織を引懸けると、其儘二人について此邸を出たのでございます。つまり私は到頭負けたのでございました。谷女、貴女があの時折角來てくれたけれど、最早何とも仕方が無かつたよ。家人を喚起せば可いとお思ひかも知れないけれど、其樣事をすればつまり私の隱した秘密が暴露て旦那樣のお身の上にも却て故障が起りそうですもの。それに何と言つてもあの二人は私の親身ですもの、其事も案じられますしね、愈と云ふ事になる迄はまさか私の口から人を喚起すと云ふ事も出來ませんでしたわ。

新小說豫告　「錺」

布施生譯

生れし時より運命に呪はれたる名細工人、其間行はれたる不思議なる殺人、思はぬ事より其の疑を身に受けたる細工人の弟子、弟子と細工人の娘との切なる戀、娘を其戀人とに同情を有つ優しき女學士、犯人逮捕の功名に焦慮りて外は顧みぬ探偵長、奇談と人情美とを巧に織交せたるエルンストホフマンの傑作。右は『どうして』完結後引續き掲載。

雜誌抄

◇成功（面白倶樂部）
一、水の如き謙讓。火の如き熱心。鐵の如き意志。電の如く機敏に、鐵砲の如く目的を誤らず、刀の如く果斷決行し（一）時計の如く[illegible]、[illegible]の如く時世と推移る（一）[illegible]の如く細心で（一）大海の如く度量大に（一）河水の如く活動し（一）山の如く泰然不[illegible]（一）[illegible]の如く根氣よく（一）一步一步と進んで行けば（一）何なりとも成功しない事は無い

日本生命保險株式會社

資本金　壹百五拾萬圓
諸積立金　參千九百六拾九萬餘圓
保險契約高　壹億六千九百八拾六萬餘圓
死亡支拂保險金（創業以來）　壹千六百六拾參萬餘圓
滿期支拂保險金（創業以來）　壹百九拾壹萬餘圓
第二十八回（自大正六年一月一日至大正六年十二月三十一日）決算報告

貸借對照表

資産	金額
現金	[illegible]
郵便振替貯金	[illegible]
銀行預金	[illegible]
貸付金	[illegible]
有價證券	[illegible]
不動産	[illegible]
什器	[illegible]
未收保險料	[illegible]
代理店貸	[illegible]
假拂金	[illegible]
合計	[illegible]

負債	金額
株金	一、五〇〇、〇〇〇
法定準備金	[illegible]
別段積立金	[illegible]
責任準備金	[illegible]
支拂備金	[illegible]
役員恩給基金	[illegible]
未支拂株主配當金	[illegible]
別段預リ金	[illegible]
身元保證預リ金	[illegible]
預リ金	[illegible]
保險契約者配當準備金	[illegible]
假受金	[illegible]
前年度繰越金	[illegible]
利益金	[illegible]
合計	[illegible]

損益計算書

收入	金額
前年度繰越金	[illegible]
保險料	[illegible]
保險契約ニ依ル利息收入	[illegible]
利息	[illegible]
財産賣却益	[illegible]
財産評價益	[illegible]
手數料及雜益	[illegible]
合計	[illegible]

支出	金額
死亡保險金	[illegible]
滿期保險金	[illegible]
解約返戻金	[illegible]
諸支拂利息	[illegible]
稅金	[illegible]
事業費	[illegible]
財産評價損	[illegible]
諸償却	[illegible]
前年末未經過保險料ノ内ヘ繰越	[illegible]
次年度繰越責任準備金	[illegible]
支拂備金	[illegible]
合計	[illegible]
差引利益金	[illegible]

利益金處分

利益金　[illegible]
之ヲ處分スルコト左ノ如シ

法定準備金	[illegible]
株主配當金（年二割五分）	[illegible]
別段積立金	[illegible]
次年度ヘ繰越	[illegible]

右之通相違無之候也
大正七年貳月拾八日
大阪市東區今橋四丁目七番地
日本生命保險株式會社
取締役社長　片岡直温
取締役　弘世助太郎
取締役　橋本重幸
監査役　坂野兼通
監査役　瀨尾喜兵衛
監査役　肥塚源次郎
[illegible]阿部彦太郎[illegible]何レモ重任セリ

朝鮮總督府營林廠大口取引

◈木材は營林廠
▲價格低廉
▲寸法正確
▲品質良好

弊居儀今般朝鮮總督府營林廠大口取引の認可を得同廠木材の販賣を開始仕り候間精々御引立翼上度此段謹告仕り候也

朝鮮總督府營林廠大口取引店
合名會社 辰 鈴木商店京城支店
京城本町二丁目九十二番地
電話長一三四七番
電話長一四二番
電話長二二九二番
電話長二九四番
振替口座京城三九五二番
受信略號ケイゼウカネタツ
發信略號（タツ）又は（タ）

◈愈々建築期節來る

安藤善四郎著　朝鮮鑛石學及探鑛法

四六版二百五十頁　並製金一圓廿錢　上製金一圓四十錢　送料六錢

發行所 京城本町二丁目 ウツボヤ書籍店

内容大要
△地質學　岩石總論　火成岩水成岩現出の狀態　岩石各論　地殼の發達
△鑛物通論　鑛物の形態　鑛物の物理的性質　成生及現出　分析及鑑定
△鑛物特論　造岩鑛物　鑛石類　脈石類
△探鑛法　鑛石の露頭　金、銀、銅、鐵、鉛、亞鉛、アンチモニー、クローム、砒、水鉛、重石、水銀、黑鉛、石炭、石油　附探鑛＝地相＝土色＝鑛山及舊坑＝地名＝轉石
△地質鑛石　地質大要　鑛石の地質的分布　各道の地質及鑛山
附錄　▽鑛石分析及鑑定表△朝鮮鑛業令△

朝鮮總督府編　朝鮮鑛物調査書　四六判洋裝　定價九十錢　送料六錢

朝鮮學術研究會編　中學商業女學高普　入學試驗問題集　四六判二百五十頁　定價五十錢　送料六錢

前東京高商教授 中央日本大學講師 古舘市太郎共著　改訂五版　朝鮮商業提要　三月一日發行　改正定價八十錢　送料八錢

常平庵主人閲　朝鮮古錢價格圖錄　近刊

發賣元　京城太平通一丁目　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番
大賣捌　大阪屋號　巖松堂　日韓書房

第四十回帝國議會（東京特電）

貴族院（二十一日）

▲委員分科會 廿一日豫算第一、第四分科會、豫算第二、第三分科會、鐵道敷設法委員會、臨時國庫證券法委員會を開會せり

衆議院（二十一日）

▲委員會 廿一日刑法中改正法律案委員會、刑事訴訟法中改正法律案委員會を開會す

▲本會議 二十一日午後一時十五分開會諸般の報告あり 軍人救助基金法中改正法律案 [illegible]所理財局長提案の理由を説明し委員附託 衆議院議員選擧法中改正法律案 憲政會を代表して藤澤幾之輔氏提案理由を説明し之に對し今井嘉幸氏（無所屬）高見之通氏（政友）の質問あり二十七名の特別委員附託 未成年者飮酒取締に關する法律案 柏谷義三氏（政友）委員會の經過を報告し滿場一致其の報告通り確定 鐵道建設に關する建議案 提出者根本正氏（政友）水戸郡山間の鐵道建設をなさんとするものなりと提案理由を説明し委員附託 警察官年功加俸令制定に關する建議案 松本誠之氏（新政）提案理由を説明し委員附託 鐵道建設に關する建議案 八田宗吉氏（政友）日光今市より米澤に通ずる鐵道建設案に付提案理由を述べ委員附託 壹岐對馬本土間交通運輸の設備に關する建議案 牧山耕藏氏（政友）從來壹岐對馬本土間は汽船三隻により連絡されたるも大戰の影響により今や僅に二百噸の和船一隻に依るのみと連絡救濟の急を説明し委員附託 物價調節建議案二件 國民黨及び憲政會より提出せる物價調節の二建議案は此際之を一括して議題に供し村松恒一郎氏（國民）降旗元太郎氏（憲政）各提案理由の説明あり之に對し仲小路農相は政府の所見を述べ齋藤隆夫氏（憲政）より取締の法規上の見解に付質問あり仲小路農相之に答へ東武氏（政友）と野村嘉六氏（憲政）との間に本案提出の形式に關し應答あり岩崎勳氏（政友）の動議にて十八名の委員附託 東方調査局設置に關する建議案 委員長代理伊東知也氏（國民）委員會の報告をなし異議なく原案可決 四時四十分散會せり

▲追加訂正 二十一日夕刊一面所載豫算委員會記事中[illegible]

○露講和忍諾

英國公報に曰く露都より接受せる報告に依れば露國は今や獨逸の條件に從ひ獨逸と講和を締結するの已むなきに至れり（倫敦電報）

○露羅戰鬪愈開始

露國過激派軍は愈よ羅馬尼及びベッサラビヤの反革命軍と戰鬪を開始せり（倫敦電報）

○チタ市占領さる

全西比利亞を通じ專ら穩和派の手に保たれ居たるチタ市は遂に過激派の爲め占領せられ是にて西比利亞全體は遂に過激派の爲め風靡されたり（哈爾賓電報）

○防禦軍或は衝突か

過激派滿洲侵入防禦の任に當るべきセミョノーフ大尉等の兵士募集に應ずるもの已に約三千人に達し右兵士等は滿洲里及びダウリヤ驛に集屯せるが過激派の權力擴張を聲明せるザ、バイカル第十三師團との間に或は衝突を惹起するなきやを保し難し（哈爾賓特電）

○樞府特別委員會

議會に提出すべき貴族院令改正案に對する樞密院特別委員會は二十一日午前十時より永田町事務局にて開會、清浦、細川、金子、曾我、小松原、安廣其他各委員出席審議する處あり正午過ぎ散會したるが何れ今後數回委員會を開きたる後本會議に附せらるべしと（東京特電）

○獨軍大に備ふ

[illegible] フランダース戰場英軍の正面に大勢集中を行ひ專らカレー方面に對する襲擊の意を示しつゝ他方面[illegible]對し並び進まんとす聯合軍としては右翼に對し[illegible]少くとも[illegible]其れ以上に堅固なる[illegible]かの計畫準備陣地を構築して萬一に備へカレー方面の[illegible]

○第二浦警察新設か

東萊海道警務部長は二十一日第二浦警察駐在所に於て同地の有志者數名と會見し警察署新設の件に付き懇談せり（第二浦特電）

大阪だより

▲解禁説と鐵價 政府の米國鐵材解禁交渉打切り後我國の造船業者は自給自足をなすより他なきの状態を招致するに至りたるより川崎造船所を初め大阪鐵工所も鐵材自給自足の成案を樹つるに至り八幡製鐵所の大擴張を計畫し當局を通過するに至りたるものあるが最近に至り突然米鐵問題再燃し船鋪二噸に對する鐵材一噸の割合を以て米政府は解禁すべき旨を宣明するに至り右交換條件にて當業者は之れに應ぜんとするの趨勢なるものあるを示し來れり然し米國の船艦鐵材は在荷薄と商内薄の爲めに相場は手堅く焦附きを示し居れるのみにして一向に應ぜず鋼板六分板は千圓を唱へ居れりと

▲煉瓦需要増加 煉瓦は石炭昂騰と輸送力缺乏の爲め相場一二圓方上向き中等品十八九圓より二十圓上等品二十二圓を唱へ例年二月は煉瓦不需要期なるに本年は一二月は殆んど需要増加にて就中新設會社の需要は一日に萬個以上に上るものあり擴張方面の需要も著しく増加し昨年下半期以來の新設會社にして今後工場設備に取懸る會社漸次に増加すると共に需要は益々増加せり

▲濠洲禁輸影響 昨今鉛は濠洲禁輸の影響を受け又々昂騰を告ぐるに至れり之れ歐洲に鉛の流入を恐るゝより來れるものにして英本國に於ては軍需品として多大の鉛を使用するより禁輸の條令を出したるものにして其の影響は本邦斯界をして斯く昂騰を告げたるものなり當市場に於ては四十六七錢の相場を示せり

▲コークス强保 一般石炭昂騰の影響をうけ加ふるに需要勘のことゝて強調の態度を示して保合せり相場は瓦斯コークス七十錢を示せり

▲二羽重は混沌 原料絲況の不昧に加ふるに米國輸入禁止云々の異相不明なるより殆んど商狀なく市場極めて閑散にして商狀混沌前途豫測し難し

▲石炭益々强硬 相變らず産地輸送困難と院炭問題とにて在庫薄を唱へ堺許市場益々硬調を辿る可く觀測さるべし

▲味噌類保合ひ 味噌類は原料たる豆米及び燃料石炭の昂騰の爲め市場氣大にて本年に入りてより更に昂騰して白赤十貫目上五圓五十錢金山寺上六圓味噌漬九圓と何れも昨年末より一割の昂騰を見たるが原料たる豆米も略ぼ天井に達したるを以て茲一二箇月は保合ふならんと（大阪支局）

◎郵貯受拂概況

朝鮮總督府管內に於ける一月中の郵便貯金受拂概況を聞くに預入は新規入員二萬五千三百人金額二百六十三萬四千圓切手並に證券六千圓にして拂戻しは全拂入員八千九百三十五人其他の拂戻度數七萬一千回金額二百十八萬圓にして結局同月中の増加は一萬六千三百人金額四十五萬圓となり居れり

◎露貨持直す

百圓對七百三四十留

露貨相場は最近漸次持直しの傾向あり哈爾賓に於て百圓對七百三四十留を唱へ居り一時の底値に比し二百留方も上値を示し居れるが右は（一）北滿特産物の出廻り盛季なると一時過激派の騒擾鎭靜して市況活氣を呈したる事（二）支那政府が一月中旬英國の慫慂によりポクラニチナヤの通關を禁止せし結果其後種々の特例は開かれ全く通關禁停の状態に非ざるも哈爾賓附近より浦鹽への逆荷は大なる障碍あり從つて北滿平野の物資は滿鐵線により南下する物頗る多々たる状態にあり旁々特産買出の露貨需要激増せしためにて當分此の状態を持續すべしと

◎北鮮滯貨状況

三月中には一掃されん

昨今の北鮮は豆類及び燕麥等の出廻り頻繁にして淸津三千噸、城津千四五百噸、新浦及び西湖津二千百噸の滯貨を見居れるが原因は從來淸津附近の豆類は凡て小蒸汽にて浦鹽方面へ廻送し居たるを淸會線開通其の他の理由に依り殆んど淸津を中心として搬出され其の結果新浦及び西湖津は神戸揚げ陸軍用燕麥を主とするに至り本船は今回の復航には淸津三百噸、城津二百五十噸、新浦二百噸、西湖津百五十噸其の他にて殆んど滿載の狀態なり今次の北鮮滯貨は其の數量に於て別に珍とせざるも貿易の比較的僅少なる問地としては近來になく多量を告げ居れりされど本社及び朝郵回航船四隻を以て輸送し居るを以て三月下旬までには一掃し得るに至るべし（大阪商船[illegible]長白井五郎氏談—釜山）

◎共益社決算

年五割の配當

六年一月廿六日より七年一月二十六日に至る株式會社共益社の第四回決算を聞くに拂込金廿五萬圓に對し純益金廿七萬四千三百圓を擧げ乃ち拂込金の十一割に相當するが益金の分配は各積立金を潤澤にし役員賞與金を二萬七千圓とし株主配當を年五割となしたり尚ほ取締役朴尙、役田中清吉、伊藤忠三、仁成の四氏は任期滿了の所有任にし新に取締役二名を增員し桑井兵三郎、張鎭佐の兩氏當選せり

◎大黒山島近況

一昨年十二月日韓捕鯨會社が西鮮沖の捕鯨根據地を定めたる以來漸かに其名は知られたる全南大黒山島は其及び内地人の居住者は僅かに二三戸に過ぎず木浦よりの交通の便きも月一二回の朝郵自由航路ありたるのみ而して硝子の原料たる硅砂も夙より之を採取せられつゝありし其産額僅少にて世間に認められざりしが歐洲戰亂の結果硝子の需要增加と價格騰貴とに依り其採取量も增加し加ふるに捕鯨開始せられたるより同島の景氣頗る加はり昨年中内地人の移住したるもの二十戸九十人其の大部分は捕鯨從業者と之に關係せるもの外に雜貨店四戸料理店一戸等あり鮮人は千百戸五千三百人大半漁業に從事せるも硅砂採取の增量に伴ひ人夫として從事するもの多く之が勞金として撒布されたる金額昨年中に九千圓に達したり此外同地には新炭の特産物ありて價格昂騰の爲め木浦へ搬出され之亦以外の利益を得る等島民は近年稀なる好正月を迎へたりと最近愛媛縣に於ては同島附近に漁民の進利を開拓すべく移住漁村を開設するの意嚮ありて本道廳へ照會し來れるが之が實現の曉は同島を中心とする海陸の産物は遺憾なく發見開拓さるゝに至るべしと（木浦）

◎迎日灣鰊大漁

慶北迎日灣にて十七日午前四時より十八日午後四時に亘り鰊千二百噸の大漁ありたるが價格は一噸四十五圓内外にて五萬四千圓の水揚ありたり外に本年度に於ける總漁獲高は十萬三百九十五噸此價格四十九萬五百六十一圓に上れり

◎鐵道倉庫と受託

京城鐵道管理局にては從來朝鮮郵船著荷の受託は著荷倉庫の收容力を一應照したる上處理する規定なるも釜山及び馬山線倉庫は目下收容力に充分なる餘裕あるを以て斯かる顧慮なく直ちに受託す可しと

◎鮮銀新株三回拂込

朝鮮銀行新株の第三回拂込みは最近の所二百四十八萬一千八百圓に達せるが未拂込額は一萬八千餘圓に過ぎざるが銀行にては整理上廿日未拂込者に對し商法により新に拂込催告の通告をなしたりと尚ほ京城本店にて拂込みを受けし額一萬一千八百圓又朝鮮及び滿洲に於ける各店の拂込受附額は一萬二千三百八十五圓なりと

◎釜山の紙幣引換高

鮮銀行釜山支店の棧橋停車場改札口構手及び連絡船内に朝夕二回出張員を派し内地渡航者の朝鮮紙幣引換を行ふ本年一月以降二月上半期迄の交換額は約七十萬餘圓にして一日平均一萬五千餘圓に達し改札口構手に於ける交換額は約一萬三千餘圓連絡船内二千餘圓合計一萬五千餘圓なりしと

◎ウ氏教書と批評

米國大統領の發表せる今回の教書に關し獨逸諸新聞紙は何れも反對して曰く『是れ何等新しき申出にあらず相變らずアングロサクソン的平和を世界に强ふるものなり』と（倫敦電報）

◎過激派軍擊破さる

アレキシーフ將軍はノロチェルカスクに於て過激派軍と激戰の結果之を擊破せり（倫敦電報）

◎獨人哈市に入込む

哈爾賓に獨逸人入込み形跡あり現に獨逸人と認むべき者多數を目擊す（哈爾賓特電）

◎獨逸品歡迎さる

ハバロフスク地方にては多數の精巧なる獨逸品は物資拂底の折にも拘はらず常時販價に販賣さるゝに依り住民の歡迎を受け居れり（哈爾賓特電）

◎王總理辭表提出別報

既電の如く王總理は十九日夜辭表を總統府に送れるが馮總統は二十日正午王總理、錢内務總長、田農商總長を會合し王總理に休暇を與へ内閣の動搖を防ぐに決せり王總理は二十日正午病氣の故を以て休暇を願ひ出でたるを以て馮總統は是れを許し内務總長錢能訓氏に總理代理を命じたり該命令は二十日夜發表さるべし（北京特電）

◎學校組合設置

安邊學校組合は本月十八日附を以て當局より其の新設を許可せられたるが其の組合區域は咸鏡南道安邊郡新城面の内門內里外八箇里及び同郡安道面の內北山里を合する十箇里

◎大同江解氷近し

昨日來の暖氣と强風とに依り大同江は急流なる寺洞附近遠からず解氷すべく鐵橋附近及び牡丹臺下は既に解氷し氷上の徒步危險を感ずるに至りたるが要するに本月末頃には全部の解氷を見るに至るべし

◎久保局長催宴

久保京城管理局長は二十一日午後六時半より千代本に於て晩餐會を開き入京中の支那交通部派遣員一同を招待す

◎古城副官歸任

陸軍省と事務打合の爲東上中なりし軍司令部古城副官は二十日夜歸任せり

◎松尾主計正出張

軍經理部附松尾二等主計正は被服事務並に營舍状況視察の爲十九日より淸州、忠州、大田及び大邱へ出張二十四日歸任の豫定なり

人事消息

▲早川新太郎少將（第三十九旅團長） 二十一日夜入京巴城館へ

▲小西菊雄氏（朝鮮奉天支局長） 二十一日夜入京不知火へ

百鬼百鼠

維新史料編纂會は新に大隈侯の顧問を始め廿名の委員を加へた▲其顏觸れを見ると殆んど全國各地の代表的名士を網羅した觀があつて從來薩長史編纂會なぞと言はれた同會も漸く名實相副ふものになつた▲先達死んだ京都の名妓君尾は維新當時井上聞多（故馨侯）と淺からぬ契を結んで居たが▲井上侯が上京の時又會ふ迄の形見と井上侯の小柄と君尾の鏡を取交はした▲處が不思議にも井上侯が郷里の田舎袖解畔で俗論黨の襲擊に遇つて九死の重傷を受けた時▲止めの一刀が此鏡で止まつた爲め幸にも一命を取り止めたのは有名な話だ▲斯んな關係から土方伯なども非常に贔負を受け中風になる迄は必ず年に一二度は同伯邸を訪問したものだ▲而して伯との間に『何方が先へ死んでも知らせを受けると同時に遙拜しませう』との約束があつた▲で伯も君尾死去の通知を受けると同時に西に向つて熱い涙を流したとやら▲大雅堂の玉蘭と云ひ坂本龍馬のお良と云ひ井上侯の君尾と云ひ兎に角京都女の歷史中特筆誇るに足るものがある

▲組織の單一

聯合軍は防禦陣地の堅固兵器の[illegible]之を要するに[illegible]

[illegible] 獨逸は若し能ふべくんば實際大攻て之に對する聯合國側の拒絶[illegible]

愈好評の經濟的事務用 パインビジネスペン（金ペン付） 壹圓九拾五錢 送料十錢 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇一〇番

地方金融組合登記公告 廣州地方金融組合登記變更事項 理事西濱重平ハ大正七年二月八日本職ヲ免セラレ同日左ノ者理事ニ任命セラル 京畿道廣州郡中垈面右村里百番地 水藤一 右大正七年二月二十日登記 京城地方法院廣州出張所

購買入札 スチームウインチ壹臺 右購買入札大正七年貳月拾貳日以後ノ詳細ハ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ 朝鮮總督府

馬糧用壓搾干草 其他製絲用上州座繰並に枠在庫品豐富 御入用の方は電話又はハガキにて御一報を乞ふ 京城古市町四二番地 林商店 長電話三〇六番

東洋捕鯨株式會社特約販賣店 鯨問屋 香月商店 京城府明治町二丁目四八 振替口座京城四八四六番

京日案內

有樂館 茶子募集 外女中兼茶子三十名 無經驗者望方來談されたし 黄金町東拓前 電一九〇三 古室商店 416

◉彫刻職人入用 但ゴム印彫刻出來得る者 奉天新市街 金英堂彫刻部

◉雇入たし 土木請負業に經驗有者一名 但要身元保證人給料面談（姓名在社） 417

◉金融 官吏教師の方へ極秘信用手形貸出御報伺上候 京城本町五丁目電車終點北 大和屋質店 419

◉乳母入用 生後四ヶ月の女子 京城古市町 若米地商店 電話三一〇八番 412

◉機關士入用 船舶運動機關士の免状を有する者一名 仁川本町 川井田回漕部 411

◉融通 月收の御方へ極秘迅速融通 立替御報伺上候 京城大和町三の三二（柄澤前） 起木屋 398

◎募集 酒造業に經驗ある身體壯健者數名至急入用 蓬萊町四 電一〇六七三 巴酒造會社 410

亞鉛のテンプラ ◉鍍金 ◉ブロンズ其他各種 電氣メッキ（電話二七一番） 明治町壹丁目 江草メッキ 415

派出看護婦募集 京城明治町二（電話一四一〇番） 惠愛看護婦會 413

年金恩給 最長期最低利 日賦 保證人不要 四年半迄保險不要 京城永樂町 商品陳列館表門前 江州屋本店 305

◯はねつき うちみ くじき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 311

鑛物各種分析 太平町二丁目三六 電長一八三三 遠藤質油店向側入る 松永分析所 333

勸業債券 六五 六七 三七回わ他店より特に高價買入 京城太平通り一丁目拾壹番地 朝鮮產業社 電話二七九三番 386

東京工科學校 電工、機械、建築、土木、採鑛冶金科 各科一二三期 及電工（別）高等科（割）生徒 一期小學卒業 二期中學三年 三期中學卒業程度の者 無試驗編入 新學期三月 規則書郵券二錢 東京神田

謹告 多年朝鮮鐵道に勤務罷在公私共御厚情を辱ふし居り候處今回都合により辭職仕候に就ては一々拜趨御挨拶申上ぐべき筈に候へ共略儀紙上を以て御挨拶申上候 尚今後は左記の處に居住罷在候へば從前に倍し御愛顧御引立の程奉希上候 龍山榮町一番地（文平山下） 山崎新

私立女子美術學校生徒募集 ○日本畫、西洋畫、刺繡、造花、編物、裁縫の各科並に高等師範科、師範科、選科等あり◎普通女、小學校卒業者何れも入學し得 ○出願期限四月三日 ○設備完全の寄宿舍あり ○規則書郵券二錢 東京市本郷區菊阪町

醇良無双清酒 衛生無害品質無双 發賣元 京城府黄金町二丁目 首藤京城支店 長電話一一七一番 釜山幸町 首藤釜山支店 長電話三四三番

大阪株式取引所仲買人 大阪市東區北濱二丁目十番地 公債株式 定期現物 同屋 小林民二郎商店 電話本局二〇九四 二〇九五 自宅電話南二五七一番

大阪米穀取引所仲買人 ◉賣買案內御申越次第進呈可仕候 大阪市北區堂島濱通一丁目九十七番地 小林彦二郎商店 電話北一四〇二 一四〇三番 發信略號「コ」又は「カネコ」

日鮮會話精通 朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生 成商業學校講師 西村眞太郎著 袖珍總クロース頗美本 七百餘頁 定價金壹圓參拾錢
一、世に朝鮮語の會話に精通せられむとする人士は速に本書を購求せられよ
一、殊に同氏の前著『朝鮮語會話』を研究せられし人士に取りては必讀の續篇とす
一、本書の內容は貧弱ならず試みに其の一端を示せば
イ、單語の數は實に八千以上なり
ロ、難解の副詞に適譯を附したるもののみにても五百とす
ハ、內鮮人間に膾炙せる俚諺の適譯計六百
ニ、譯方正確にして且つ嶄新
一、本書は各學校教師及學生各裁判所警察官署通譯生銀行會社並に講習會に對し宿年の渴望を充すに足る良著たり幸に一本を机上に載せて御愛讀の榮を賜らむことを祈る
發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇一〇番 京城日報社代理部
取次所 大阪屋號 巖松堂

●明治神宮

壁畫の畫題決定

▽參内始より御大葬迄八十五題

目下造營工事を急ぎつゝある明治神宮外苑正面に建設さるべき繪畫館内陳列の歴史畫は　明治天皇

◇御一代を偲び奉る永時のものなればとて委員長金子子爵外委員德川議會長、森鷗子、瀧澤、三上、荻野、正木、小牧、萩原、黒澤の諸氏が元老其他の意見等も參酌の結果漸く嘉永五年十月廿二日の「御降誕」より明治四十五年九月十三日の「大葬」に至るまで

◇畫題總數 八十五を選定したれば十三日之を印刷に附し奉贊會長德川公に致したる上池邊氏主として構圖事實を調査したる上畫題に附し本月下旬之を發表すべしとの事なるが畫題は未だ秘密にし居れり右に就き奉贊會の森尾理事は語つて曰く「稿を改むる四回漸く

◇畫題が決定したので先づ一段落といふ形です壁畫は大小に分け大は縦二間横二間半小は其れを二つ又は三つに分け數は大が卅八小が四十七といふ豫定です夫れから今回新に吹上御苑に明治天皇の御學問所を移して保存する事になりましたが此の室内には

◇天皇が國務に關する御書類を納められたといふ數個のポール紙製の函御製を認められたといふ古い罫紙數百枚なども有ると云ふ事ですせめて其の模造でも明治神宮苑内に設け一般參拜者をして大皇の御勤儉を拜し奉るは何うであらうと私は意見を會長に具申して置きましたが何ういふ結果になりませうか」

▼洋畫をも用ひたい

◇日本畫は絹が一番弱く日本紙が耐久力がある◇

歌題選定委員の一人なる美術學校長正木直彦氏は語る「繪畫館の壁畫が八十餘枚全部を悉く日本畫にするか洋畫にするか或は

◇畫材に依つて異にするか何うか又年代を區分して兩者を併用するかは未だ確定して居りません併し先帝御一代の歴史畫として造るには敢て日本畫にのみ限らず當代に勃興せる洋畫を用ふるも好いだらうと思ひます併し油繪といつても現今行はるゝものは到底永い壽命を保たない

◇英國 でも百年此方の繪畫は多く破損褪色を來して巴里のパンテオンに在るシャバンヌ氏の壁畫は近來先づ指を屈するものであるが年末だ新しくて永久に保存するか何うか分らぬ氣候の變化の多い我が國殊に濕氣に富んだ東京であるから陳列場の建設に餘程

◇工夫 したければなりません日本畫としては絹が一番弱くて日本紙の方が耐久力がある又板を用ひても出來るが繪具は餘程純良なものを選ばなければなりませぬ今回の企ては先帝の治蹟を無窮に傳ふると共に現代一流の畫家の名をも遺すのであるから目を急がず愼重に考究して着手しなければならぬと思ひます」

絲くり ―光熙門外―

●故押川氏

葬儀

會葬者一千餘

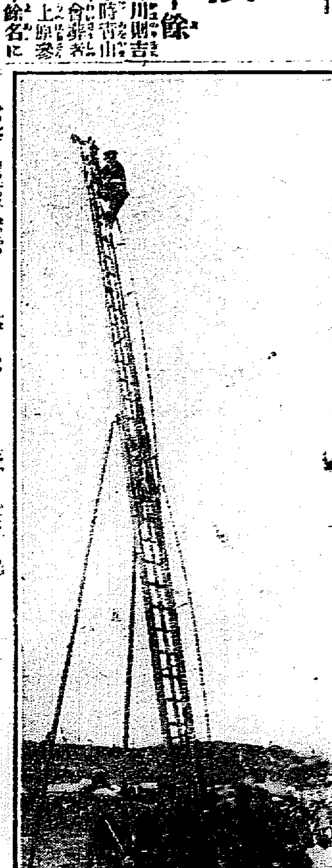
製鐵所長官貴族院議員押川則吉氏の葬儀は二十一日午前十時青山齋場にて莊嚴裡に執行され會葬者は伊集院元帥、井上元帥、上原參謀總長、權山大將其他一千餘名に達したり（東京特電）

●露國旅客北行差止

廿一日午前九時南大門驛着の露國人男一名女五名は外國人取締法に依り北行を差止められ一應驛前笑福旅館に投宿せしめ露國總領事館に交渉中なるが身元判明次第直ちに旅券交附北行せしむべしと

●麗水丸遭難 客不明

一月末忠南黎川沖にて沈沒せし朝鮮汽船麗水丸の乘客四名は其後會社にて強力死體捜索を行ひ今日猶は引續き相當手配中なるも未だ發見するに至らざるが一方既に其の生存は萬一をも望まれざるに至りしを以て會社は社員を派して內鮮人乘客の遺族を訪はしめ鄭重なる弔辭を述べ更に弔慰金一封宛を贈りたりと



●營利勝つか道義勝つか

手古摺つて居る鑛業家

―極端な祖先崇拜から―
―土地讓渡に反對する―

朝鮮人が祖先を尊敬すると云ふ事は絶對的である、先祖の爲めには假令其の頭上に九鼎より重き一擊を喫はされやうと微動ともする事ではない釜山在住鮮人朴永吉と馬山の鑛業家磯田樹造とは協力して東萊郡正面華池山附近に

◆金鑛を發見 し直ちに其の筋へ出願して昨年の五月採掘認可の指令を受けたので同地所有主京城社稷洞二百六十三番地鄭圭煥に宛て採掘の承認を求めたのであつた、處が其の華池山二十八萬餘坪は今より九百九十七年前所謂東萊『鄭』氏が葬られた土地、一般の埋葬は禁じられて僅かに

◆拔群の偉人 と見做される鄭氏の子孫幾基かの墓を見る許り、一般鮮人はそれを『鄭墓』と稱して大いに尊敬して居るが鄭氏の子孫は慶尚南北道を主として全羅南北之れに亞ぎ咸鏡南北道其の他十三道に跨りて十三萬以上の多數である、上述の通知を手にした東萊の鄭圭煥は直ちに

◆檄を飛ばし 各道の『鄭』と名乘る者へ此のよしを通じた然し未だ其の當時は單に出願者から通知があつたに過ぎぬので鄭同族も前後策に就きて意見の交換を爲すに過ぎなかつたが去る二月三日附磯田、朴の兩名から『愈々採掘を開始することになつたから其の部分の土地讓渡を諒容されたし若し二月十五日迄に返答なきに於ては

◆土地收用令 に準じ相當の手續を爲すべし』と云ふ强硬なる内容證明の郵便が京城鄭氏の處へ配達された、それを讀んだ鄭氏は日本文十五日云々以下の文意の解釋を誤り十五日より着手するものと思ひ詰十五日出釜せるに東萊、梁山方面鄭一族は同地に密集し

◆不穩の形勢 を示したので東萊警察署よりは鄭警部巡査二名を從へて之れが鎭壓を爲し一應解散を命じたが以來毎日同地には四五十名の同族集合し崇高なる祖先の墓地の發かるゝ事を悲しみつゝある一方東萊署にては鄭圭煥を招きて

◆權利義務 を説き諄々として諭したるも鄭氏頑として聽せず自己の所有地たる靈地華池山には一歩たりとも他人を足踏みさせぬ

と頑張りつゝあり營利を目的とする鑛業家と因はれたる祖先崇拜者の經緯は果して什麽結果を生むであらう？

●京城今昔

消防の話（三）

―「火事」と呼べ―
電話特別取扱

前述の如く消防は多大の能力を使用しながら猶且つ効果の擧らぬのは一に機械力を用ひずして全部を腕力に依賴する爲であるから差當り到着を速かにする水管自動車を増加しなければならぬ。又立派な水道があつても大火となつて諸方から使用すると水力は微弱になるものであるからどうしても

◇今後の消防機械は 機械的の有力なるものを用ゐねばならぬ機械であるから消防手の給與は一般に薄給であるから折角練れたと思ふと退職を願出る者が多いので給與の事に就ても今考察中であるそして危險な職務でありながら一朝職に殉れた場合の救助方法も規程されて居らぬので一昨年京城消防義會なるものを組織し特志者の寄附と罹災者より贈らるゝ慰勞金とを悉皆此の消防義會に入れて萬一の場合に消防手又は其の家族の慰藉料とすることゝし又其の費用をも支辨することにして居るが未だ遠慮して擴張方法を講じて居らぬから之に依て消防手の救濟を完うすることは出來ぬ東京、大阪、北海道其の他大抵の大都市は此の消防義會を組織し東京の如きは澁澤榮一氏其の會長となり有志の同情を得て立派なものに成つて居る京城でも早晩之を消防自身の手より離して獨立したる有志團體に依賴する方が順當であり又得策であると思つて居る

◇消防手も成つた當時は火事場へ行くのが人なしいが段々火事場の數を潜る毎に大膽になるので脱線されて統御に困る者も生ずるが職務上に於ては實に一家族の樣に能く一致して居る指揮者乃至監督者として此の點が甚だ愉快である

◇消防研究 の結果消防として先きに望んだ電話は特別取扱方法は一般が能く記憶せられて此頃は「火事」と呼んで直ぐ報知をせらるゝので消防隊は大に悦んで居る次第であるが今一つ消防として希望したいのは道路の交通である消防車輌の出動する際車道に徒歩者のある程危險なものはない之は是非一般の公德心に訴へて

◇人道車道の區別は 嚴重に立てられん事を希望するそれが爲めに消防機械の目的地への到着が遅れると云ふ事は遺憾千萬である又小學校生徒等が退校時間に防寒頭巾を被つて通るのも誠に困る事で之は特に學校及び父兄の諸君に注意を望む次第である

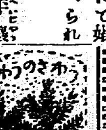
●剝がれた憲兵の盜み（鍾路署）

本郷町生れ當時住所不定坂口克己（二一）は昨年十一月憲兵補助員になりたる者なるに尚現職に在るもの如く裝ひ京城本町雜屋岩田正一方にて長靴一足を詐取し八圓に入質し酒色に消費し龍山漢江通平田寫眞館にて遊興費十五圓の借用を申込みて聽せられず平田の紹介にて彌生町於多福樓にて三十圓の遊興を爲し支拂はず揚州憲兵出張所にてマント及び袴を詐取し遊興代に支拂ひ又新町君之江樓にて娼妓の衣類を窃取せるを取押へられ檢事局へ送らる

●紋臺の露男女五（平壤）

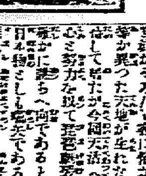
監獄に於ては豫て死刑の宣告を受けたる平北江界の夫殺し李氏女（二一）同共犯劉榮澤（三）及び黄海道の強盜殺人姜漢璟（二）共犯趙錫俊（三）平南成川郡殺人事件鄭蓬玩（三）等五名に對し死刑を執行したり十九日午後二時教誨師より最後の教誨を與へ同三十分松寺覆審法院檢事長立會の上順次紋首臺に上りしが何れも十三分乃至十七八分にて絶命せり因に同監獄に於て一時に五名の死刑を執行せしは今回を以て嚆矢となすと

◉池上醫師歸京 櫻井町池上病院主池上[illegible]氏は過般來病氣療養中なりしが[illegible]



『離れ船や岩角鯨しく冬の海』汝瀬津の岩至急除去すべき必要ありと信ず至急御配慮を乞ふ▲この電報が二十一日朝上の五の一通が古海幹務總長宛に發信人名なしで届いた▲後の四通は誰れの所へ届いたかを疑問にしても一句つけた處から何でも發信人は危かりし岡本勅任技師らしい▲句と云へば總監部の國府保安課長はアノ頑丈な顔で文學にも趣味が深く短歌は殊に造詣が深い相で雜誌『水甕』の會員とかいふ話だがそんなことはおくびにも出さず默つて記者の友人に一首を示した▲『新らしき歌卷讀めばこの頃の歌なき我は惡さとりかも』といふのがそれだ氏は何三度の飯より撃劍が大好きといふので相當に使へるといふから愈々面白い

琵琶史劇 袈裟御前
天活會社專屬 青江東旭師 臨時大正より出張 黄金館
全通筑前琵琶彈奏 □來廿二日より特別大提供
天活會社 大作寫眞來る



▲袈裟御前 廿二日から黄金館に於ける天活會社作大活劇アトテノ手も全四卷[illegible]新派に入組せし久保田一座の[illegible]一の獻身的撮影にかゝるものにして[illegible]『袈裟御前』は予て一律の連鎖劇の新派劇[illegible]に推かれて來た[illegible]天地が生れなければならない[illegible]努力を以て琵琶劇袈裟御前を決定せるは[illegible]日本物としも[illegible]琵琶師青江旭東氏[illegible]なするに[illegible]なるが入場料は値上せざる由

▲大正館 二十二日より特別興行として[illegible]全部の差替は左の通り▲[illegible]喜劇テジーの眞似▲滑稽少年飛行機熱▲新派活悲劇浪まくら全四卷北米奇談鐵の爪四卷▲舊劇[illegible]全四卷

▲有樂館 二十一日より全部差替と[illegible]其の主なるものは左の如し新派悲劇[illegible]全四卷▲社會劇家名保護全五卷▲舊劇稀天小僧吉之助全四卷

たりし露の病家庭に友人を[illegible]京城を引揚[illegible]つもりにあらずや[illegible]向きもあれど[illegible]右の事情にて[illegible]したるに外ならず[illegible]京城に於て診療に從事する由

流行のカゼ ネツと痰咳

▲家庭婦人のお心得

■風邪の心地が危險 くなるに連れてカゼが流行つて來ます。御承知の通りカゼは萬病の因、肺炎等の恐ろしい病を始め大概の重い病氣はカゼから始ります「風邪の心地」と打伏せしが……なぞと果敢なくなりにけり――なぞとよく昔から書いてある通りです。殊に皮膚に未だ充分な抵抗力の養はれてゐないお子供方は、今の時節一番注意を要します。

■お醫者に御相談 カゼを引かない用心には、體を健康にし、殊に皮膚の抵抗力を强くするのが根本的の方法です。即ち冷水摩擦、深呼吸、日光浴、適宜の運動、寒いといつて無暗に厚着をさせぬ事、其他種々ありますが併し體の弱い質の人は斯ういふ事も餘程注意してやらねと、却つてカゼを引く因になる事がありますから、よくお醫者に相談して徐々に始める樣にすべきです。

■子供のカゼの藥 さてカゼを引いた時の用心には、それがお子供（七歳以下の）であれば、藥も矢張子供専門のカゼ藥を用ひる方が安全でもあり又適當でもある事は申迄もない事で、其れには『オイン』が一番に適した藥であります。『オイン』は世に信用の厚い大阪の丹平商會の製藥場で藥學者達が子供專門のカゼ藥として特に研究して製へた藥ですから世の母親方は大層喜ばれて常に家庭に備へられてゐます。

■大人のカゼの藥 それから大きい方々のカゼ藥には種々のカゼ藥といふものもありますが、矢張信用の厚い藥舗だけあつて、丹平商會のアンチピリン丸が一番有効に、工合よく出來てゐます。これ程きゝめの判然した、そして其れが少しも氣持惡くなく、工合よくきくカゼ熱藥は外にはありません。

■痰咳に苦しむ時 それからカゼに咳や痰が伴ひ、胸苦しい樣な時には、呼吸器散又は呼吸器丸といふ、矢張丹平商會製藥工場の藥學者の研究で出來た藥が有効として知られてゐます。此藥の痰を切り咳を鎮める効は實に鮮かなものです。これからは夜中からカゼで發熱する樣な事もある事ですから、是等の良い藥を常に家庭に備へて置くと安心です。

△藥價オイン十錢包、二十錢包▲アンチピリン丸十五錢、二十五錢、△呼吸器（丸）十錢、二十錢、四十五錢△各藥店にあり

▲獨逸の和議 其は兎も角[illegible]て最後の講和提議を試む可しとは一般に期待せらるゝ所にし

[illegible]しれる處の如く世界の耳目は今や挙げて此の一戰の成行如何に傾注せられつゝあり而して聯軍は一方[illegible]の作戰に出づ可きか瑞西の中立を侵犯し以て佛國の東援より聯合軍の右翼側面を脅威せんとするか其れとも英軍正面及び瑞西方面に多くも之を報道するの自由を有せざれども夫々充分なる應戰の準備を遂げつゝあるは勿論なり即ち英軍陣地の後方には獨軍後方陣地と同[illegible]されども[illegible]要塞の側へあるのみならず開戰以來殊に最近來其防備を嚴にして相當陣地をも構築すると論を俟たず[illegible]せられて又新なる師團の新派を中止したるやの觀ありしも其後再び兵員の増派を急ぎ現に第五回目の師團が佛國戰場に[illegible]からずして實現せらるべく唯だ百九十萬乃至二百萬の大米軍が到來するの前途甚だ遼遠なるを遺憾とす可きのみ[illegible]は今日の聯合[illegible]合軍總司令官の指揮下に置くこと是れにして此程ヴエルサイユに開催せられたる聯合軍事會議が此[illegible]

男の生殖器病
專賣特許 眞空療法器を自宅で消息秘密に使用せば生殖器發育不完全、包莖、早漏、陰萎、遺精、腦神經衰弱、慢性淋病等は容易に治す二大醫學博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讚湧くが如し ハガキで申込めば非賣品圖入說明書を無代封送す
電話神田七二二番 東京神田小川町五 東京 眞空療法研究所

製造元とのやくそくで 割の安い品そろいの
砂糖、麥粉、寅、金巾、綿寸、石油、洋傘、酒類、紙、乾物、罐詰、ビール、サイダー、リ、葡萄酒、清酒、醤油、染物、足袋、其他
乃日新入荷雑貨食料品
大おしろ店 仁川本町
河野本店 電話一二二番 振替京城一八二番

痔疾專門
入院隨意 京城明治町二丁目本町より入る中程（電話一一〇二番）
京城 久枝肛門病專門病院 院長 久枝秀喜
四月上旬より滿洲各地患者各位の懇望に依り再び出張可仕候

特約販賣店募集
三阪軍醫新發見製劑 いんきん。たむし。しらくも。の根切藥 サルハ液 全十五錢
見本相當代金を添ゑ御申込を乞ふ 「效能有効保證す」

しもやけの妙藥 凍治水 速効保證
しもやけ ゆきやけ ひゞを治することを保證す。 全十五錢
本舗 東京牛込區市見附（振替二八四三）合資會社 同仁社 發賣元 大木合名會社
◉全國の藥店にて賣ります品切の時は藥店へ御注文下さい◉

内科 小兒科 呼吸器病 胃腸病 喘息 リユマチス
京城本町二丁目四十五番地 電話二八〇番 山田病院 院主 山田萬作

『牛』の著 岡本米藏君新著
簞笥
四六判布表紙函入本文三百二十餘頁 正價金[illegible]
『牛』の姉妹篇也。著者は現代青年の最も信ず可き味方也。不健全なる思想の發除に日夕焦慮する著者が擧國民の熱情ある進路を示して本書となる。[illegible]
岡本米藏君著 牛 七十七版 正價壹圓
京城本町 博文發館 行

天下仰名 渇愈の著出
賣捌所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部
取次所 大阪屋號 松堂

瀨戸外科皮膚科醫院
京城旭町二丁目（舊三丁目）電話二四九八番
醫學士 瀨戸潔
（診察夜九時迄）

櫻御殿

第百五十八回　大阪　霞の家主人

秋月（十五）

『よく云うた、爾うする外に、お暇の立ち行く處はあるまい』と利右衛門は娘の心を察し遣つて『初瀬どの、お聞き入れ遣はされ、假初にも武士の家に生れた者が、男と女とを見損じて、戀をする法があらうか、娘を殺すはやがて娘を生かすのぢや、わしからもお願ひ申す』

『いや、夫では恐れ入ります、斯う參り行くも、御奉公の道を忘れて、戀に迷うた天罰が報うたのでございます、恐れながら風早樣へ

『然し』と宗之助は此の時、側から口を挿んで『助左衛門樣が僞首をお受け取りでござりませうかな』

『いかさま喃』と利右衛門は心付いて、『現在この樣を見て歸つた目に、僞首を承知致さう筈はない、こりや一工夫せねばならぬ喃』

『それよりは、旦那樣のお身も無事、桐島樣のお命にも大事ないやう、お考へなされては何うでござります』

『有理々々、負うた子に淺瀬を敎へられるとは此の事ぢや、助左衛門も初瀬殿の御全快を待つといふた、さらばその中に工夫致さう』

お願ひ、あなたのお手でわたくしを一思ひに遊ばしませ、さうして首級を助左衛門殿へお渡し遊ばして下さいまし』

初瀬も覺悟の臍で云つたで『初瀬どの』と利右衛門は泯含んで『斯樣に參り行くも、深い御縁があるからでござらうぞ、何をか包まう、拙者の妹もやはり桐島殿奥殿に勤めて居申す』

『その芳野樣とは、姉妹よりも親しくして居ります』

『おゝ、さらば手前の身の上を御存じでござるぢやの』

『御息女樣のお物語で、それと御推量申し上げて居りました』

『それならば何の事、娘桐島も叔母の友の身替りに立つと聞いたら何樣にか歡ぶであらう、切に望みを協へさせてお遣り下され』

『稱らなされませ、助左衛門樣いかやうに目を光らせて、御監視を爲されても、脱け道はいくらもあります、旦那樣は御養生が專一、お綫さまは今まで通り、御介抱を爲されませ、強て犬死を遊ばすも、命の捨場は何處にでもござります』

宗之助は思慮の深い言を云つた、これで愁眉を開かれて、一統が吐息する、そこへ内儀がそつと出て『もし御油斷なされますな、先刻のお武家樣が、ろう〳〵と瀬戸へお廻りなされました』と氣を注た『初瀬どのはお休みなされ、手前はこれにて監視致す、執念深い助左衛門、どのやうな事を致すかも分らぬ、桐島も油斷せまいぞ』

『はい、油斷は致しません、わたくしは命懸けでござります』

斯う云つた桐島の目には、强い希望の光りが滿ちた、彼女は別に決心した事があるらしい樣であつた。

日報俳壇

冬季雜詠　待宵選

局ゝ通ふ汽船の波や浮寢鳥　待宵
海鼠のみ持成す島の旅寢哉　同
隔意解けし友と對坐す寒夜哉　同
御門統ぶる町閑まる冬の月　同
移居の事語る母兒や炬燵哉　同
背山落る裏戸に鳴るや冬の風　る涯
局々明ら灯しぬ冬の月　才名
族積む貨車に雨降る車站哉　同
鐵橋の月に光るや枯柳　同
尖塔に燃ゆる夕日や多の山　同
狂言師の色足袋芽る蕪莖哉　鮑葬
冬山を砥める煙や木樵り唄　同
多山に抱かれて灯す港哉　友
冬山を割きり走れる大河哉　同
門前の落葉を漁る兒鷄哉　保道
城壁築く工事進まぬ落葉哉　愛風

鷄林同人會大會選歌

—二月十一日於南山本願寺—　白石 秀雄選

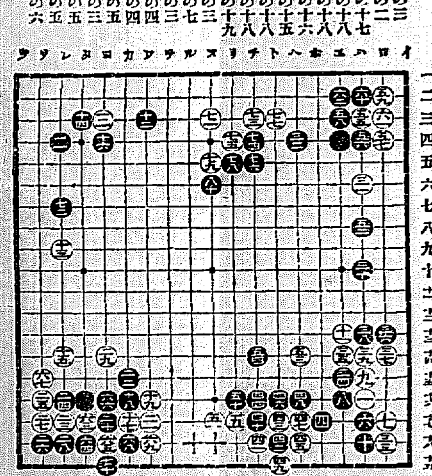
〇川なちのたき火かこめる人顔のあかきが夜目にさやかなるかな（八點）　愛子
〇神遠く見ゆる火影は瞬つふれとさゝめきたちぬ祖の人々（八點）　角田 不案
〇いつしかに野火の焔は見えずなり火はひろごりて夜となりゆくも（七點）
〇しみ〴〵と聞きいるなべに爐の火はさびしき音たつるものかな（七點）　丸岡 登
〇かきおこし〳〵つゝ埋火にゆくへこし方思ひみたれたり（五點）　高須賀 獣
〇火を振りては醜き耦を鐵山に若男さも登り行く見ゆ（四點）　瀧川
〇何さなく火を見てあれば、わが心くしき力にもゆるなりけり（四點）　高須賀 獣
〇大釜の小暗きしたゆ火はさかり湯はふく〳〵とふくれ湯氣立つ
—以下三點—
〇竹馬のむかし語に夜はふけぬ折り焚く柴の火なかこみつゝ　松田 甲
〇これやこの大地の底にも燃ゆる火のおほらかのさま見むすべもがな　角田 芳子
〇燃ゆる火を見ろさへもろしこの日ごろ氷銷沼の水見ろはなほうし
〇阿蘇に來てかはたれ時の大空の雲のゆるぎに火のうつろかな　淺雪
〇朝の御旗つかへるまつろくさ庭に一人獣るなり浮き火な　磯部 百三
〇祝ひつゝすまひがなへる柳鯛にうつゝ明り火もわかせ子のため　白石 秀雄
〇藁垣のふさき手のべてはらからの火にあたりなり爽き朝かな　大内猪之介
〇うちおろす槌に火花のはらゝきてかねちの額ぞもゆばかりなる　佐々木信一
〇ぬば玉の夜のしじまに包まれて火かげながるゝ雨の市中　坪内 学

洋食料理 すき燒 お好み次第一品の高評を博し居り候 電話二五七一番 カフエータイガー

碁戰

十番碁第七局（四）　三段 山平 番氏　二子 大久保雅彦氏

〇六一	ロの三	
●六二	ユの二	
〇六三	ヌの十七	
●六四	ヌの十八	
〇六五	ヨの十八	
●六六	ヨの十六	
〇六七	ソの十五	
●六八	カの十八	
〇六九	ツの十八	
●七〇	ヨの十九	
〇七一	ヌの三	
●七二	レの七	
〇七三	ナの三	
●七四	チの四	
〇七五	リの四	
●七六	チの五	
〇七七	トの三	
●七八	リの五	
〇七九	ヌの五	
●八〇	ヌの六	



新刊紹介（到着順）

▲ローマ字　十二錢東京麹町有樂町一の三同ひろめ會
▲陽明（七三）　十錢大阪府東成郡天王寺村大阪陽明學會
▲臺灣敎育（一八八）　二十錢臺灣總督府民政部學務部內其會
▲新國民（二月號）　十五錢東京市神田猿樂町一六國民中學會
▲獨立公論（一月號）　十仙米國布哇ホノルヽ市マカチヤント街郵函四七四其社
▲日支實業界（八の二）　三十錢東京府下調布町宇下布田其社
▲石油時報（二月號）　十五錢東京麻布龍土町六三其社
▲集華時報（二月號）　三十五錢

讀者の領分

▲この頃電車に乘つて岡崎町を通つて見ると行城町の方に鮮人の幟りが立つてゐるのを見るこれには何か譯があるのかそれとも雛節句と端午の節句を間違へたのならば隨分輕卒な事だ（瓢々子）▲電車の割引乘車券を今度改正したのはいゝが四十回分を四十一回分にしたとは何んといふケチな事だ、苟も大會社を以て自任する京城電氣としては四十二回分一圓とすべきであつたらうと存ずる（龍山本田生）▲朝から晩まで古物ありませんかと觸れ歩きながら時々裏口や玄關口を差覗く朝鮮人には實に油斷も隙もありません、玄關や裏に些しでも人が居ないと手當り次第に何でも洗濯物でも何んでも盜んで行きます彼等が來ると妾共は注意しますけれども一々人を盜賊扱にするのは嫌で堪りません根本的に取締つて戴く譯にはゆかぬものでムいませうか（とき子）

最新刊

書名	著者	定價
朝鮮敎育者必携	朝鮮敎育研究會	二、五〇
[illegible]一覽	張燾	六五
朝鮮畜産例規	吉田雄次郎	七〇
朝鮮司法警察法規集	藍沼武男	五〇
本請願かな帖	島村不老	四〇
打碁と要領	野澤竹朝	一、二〇
文字を崩す法	鈴田琢太	九〇
人體系統解剖學	鈴木文太郎	四、五〇
遺傳の實驗	外山博士	一、二〇
誰にも出來る美容の仕方	成瀬鹿子	七〇
幾何光學論文集	山田幸五郎譯	二、五〇
立憲勤王論	尾崎行雄	七〇
簡易生活の實例	西村文則	九〇
改訂支那文明記	宇野哲人	一、四〇
若き敎師の進むべき道	明治敎育社	一、三五
ハウツウライトアンドオーヨード	渡邊良三	一、五〇
日本の佛敎	境野黄洋	一、〇〇
空の戰	磯部海軍少佐	八五
浪六傑作集（三）	村上浪六	一、二〇
全譯 サニン	アルツイバシエフ	一、〇〇
新譯 何處に行く	シエンキエヰチ	一、一〇
改訂新版 朝鮮地誌	朝鮮滿洲社	二、五〇

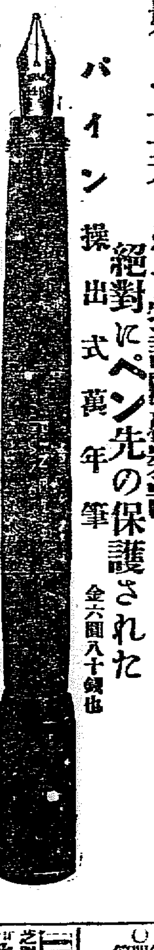
大阪屋號書店

足の冷へる方は女のくすり命の母が第一等
試用分 十錢 二日分 廿五錢 一週分 八十錢 二週分 一圓五十錢
本舖東京京橋菊榮町笹岡省三藥房 各藥店に在り

京城龍山等各地に僞物有之御注意
百圓呈進
りん病 ばい毒
請合 藥價 二円 一円
帝國醫科大學病院
淋病藥王藥は治驗劑として梅毒藥王藥は驅梅內服藥として醫學上最有效と確定し普く全國に配劑せる高貴藥なるを保證す若し前述の證言に違ふる事を發見せる時は分析料百圓進呈
にせ物 東京其他各地にニセドラッグあり注意
大阪有田ドラッグ商會滿鮮本部 京城南大門外停車場通
京城黄金町三丁目 大阪ドラッグ商會
釜山大廳町二丁目 大阪ドラッグ商會
元山本町三丁目 大阪ドラッグ商會
他の藥店に販賣を不許
詳細は本月一日の本紙を御覽
京城 南大門外停車場通 大阪 ドラッグ 商會

日に三度
正しき補血强壯增進劑　芳香美味 誰でも喜ぶ
プルトーゼを召せ
飲むとスグ肉を養ふ新鮮の血液と化して身体中廻り歩るくプルトーゼを毎日の御飯の樣に日に必らず三度宛召上れ……何時の間に肉がコンナにカツチリと發達してコンナ力が何處から出るかと……
老人でも……若い人でも……御婦人お子達でもキツト驚く無双の効驗
これがプルトーゼの眞價であります
●プルトーゼは全國の信用ある藥店にあり
製造元 大阪市平野町 中田商店
發賣元 大阪市道修町 藤澤友吉商店

THE SAFETY "PINE" FOUNTAIN PEN
▲新機軸の萬年筆▼
始めて工夫された特許防破裝置
絕對にペン先の保護された
パイン操出式萬年筆　金六圓八十錢也



此式のペンは縱橫顚到如何に不注意に携帶せらるゝも決してインキの流出することはありませぬ使用終りましたるときこのペン軸に附屬して居ります特劍の帽を右に廻せば螺旋の動作によつてペン先は自らペン軸內に引込む此の時キヤツプを上部に裝すればインキの流出するを防遏致すからでムいます因みに此形は萬年筆中尤も最近に工夫作製せしものであります且ペン尖が極めて軟かなる故太くも細くも自由に字體を作ることが出來て日本文を書くに尤も妙です殊に鳥の子又は改良紙にすら良く適して極めて便利でムります
發賣元 京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番 電話拂內一入番 京城日報社代理部

鑛泉應用滋養菓子
三ツ矢 登錄商標
うまい〳〵サイダーボンボン

拾貳個入壹箱
發賣元 大阪 松下善四郎商店

尼崎汽船 八日仁川出帆
〇之綱大阪直行 秀吉丸 二月廿六日後四時出
〇郡山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 大有丸 二月二十日後四時出 君代丸 二月 日後四時出 神代丸 二月廿七日後四時出
仁川海岸通二丁目 五十九番 杉回漕部

日本郵船 仁川出帆
〇大連行、天津行 相模丸 三月二十日 三河丸 三月十日 高砂丸 二月廿八日 正午出
仁川港町 堀回漕部

汽船 釜山出帆廣告
〇門司、神戸、大阪行 和歌浦丸 二月二十一日後五時出 立神丸 二月 日後五時出
〇元山、清津、浦鹽行 和歌浦丸 二月二十一日後十時出 立神丸 二月 日後四時出
〇佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 大興丸 毎月一日、九日、十四日、廿一日、廿六日 午後十時出帆
〇元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 二月廿三日後六時出
〇門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 三月四日後六時出
本社 釜山 大池回漕部

共同汽船 八日仁川出帆
〇芝罘、大連行 共同丸 二月廿一日午後八時 二月廿二日午後時出
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七三番） 仁川代理店 野口商會 元山代理店 田口國書部 京城取次店 河村運送店

下關期米 大阪期米 △二十一日後場 ●當限寄付
び九十九錢二節中七十四錢より三圓九十九錢二節九十八錢三節九十錢先九十八錢三節變らず四節大阪八錢七錢八錢七錢四節二十一圓〆止め新入電に七十三錢より八十一錢四錢五錢二錢五錢四錢五錢六先二十一圓〆[illegible]